三歯会報



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION

◆特集・歯の衛生週間
三重県審査の結果
支部長メッセージ&歯の衛生週間事業レポート

◆歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業
第1回歯科衛生士研修会

◆平成23年度歯科助手講習会／歯科衛生士職業説明会

Mie Dental Association

三重県歯科医師会
http://www.dental-mie.or.jp/

2011
8 9
No. 651

三歯会報　CONTENTS　　2011　8・9月号

◆ 歯の衛生週間・三重県審査の結果 …… 2

◆ 支部長メッセージ＆歯の衛生週間事業レポート …… 6

東日本大震災　身元確認作業・口腔ケア活動支援 出動会員に感謝状 …… 1

歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業　第１回歯科衛生士研修会 …… 18

平成23年度歯科助手講習会 …… 21

平成23年度歯科衛生士職業説明会 …… 24

みえ歯ートネット通信 …… 25

６月理事会報告（各委員会から活発な事業報告）…… 26

６月支部長会報告
（東日本大震災・口腔ケア活動支援に会員派遣
県民歯科疾患実態調査実施へ協力依頼）…… 28

７月理事会報告（東日本大震災の被災会員に対する見舞金の配分について協議）…… 34

第210回定時代議員会報告
（歯科口腔保健推進法成立への動きを報告
22年度決算承認／公益社団法人への移行認定申請を執行部に一任）…… 36

議事運営委員会・選挙管理委員会・裁定審議委員会 …… 39

医療管理（機械等を取得した場合の特別償却・税額控除）…… 40

６月・７月会務日誌 …… 42

会員消息／新入会員プロフィール …… 43

告 知 板（第33回三重県歯科医師会ゴルフ大会開催のご案内）…… 45

平成23年２月・３月診療分歯科診療報酬状況 …… 46

互助会の現況 …… 47

三重県歯科医師国民健康保険組合 …… 48

編集後記 …… 50

東日本大震災

身元確認作業・口腔ケア活動支援
出動会員に感謝状

三重県歯科医師会では東日本大震災に際して、日本歯科医師会からの要請に基づき、ご遺体の身元確認作業及び口腔ケア活動支援のために会員を被災地へ派遣した。

貴重な時間を割き、本会を代表して大切な任務を果たした出動会員に対し、７月28日(木)に開かれた第210回定時代議員会の席上、峰 正博会長より感謝状が手渡された。会場の代議員からは感謝と労いの大きな拍手が贈られた。

身元確認作業出動者　　：鵜飼 伸（桑員)、加藤 泰（四日市)、陣田清士（四日市)、山田敏彦（亀山)、岸畑安紀（津)、津田 真（松阪)、熊谷 渉（伊勢度会)、村井 玄（伊賀）

口腔ケア活動支援出動者：冨田 薫（伊勢度会)、村井 玄（伊賀）



歯の衛生週間
三重県審査の結果

「母と子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒審査」は県下各支部から選ばれた代表が県審査に臨みました。審査結果は以下のとおりです。

第60回母と子のよい歯のコンクール

最優秀	脇田直子	大　輔	伊賀支部
優秀	中山純加	埜　愛	桑員支部
〃	吉良友美	温　樹	四日市支部
〃	辻　恵実	琉　愛	鈴鹿支部
〃	山田小百合	心　結	亀山支部
〃	松本照代	朱　理	津　支部
〃	下谷直子	勇　人	松阪支部
〃	浦井はる	惺　愛	伊勢度会支部
〃	高橋理加	珠　里	志摩支部
〃	芝原里美	くるみ	尾鷲支部
〃	坂口　薫	雄　基	南紀支部



平成23年度よい歯の児童生徒審査表彰

最優秀	福田真也	菰野町立菰野小学校	四日市支部
優秀	谷川歌穂	桑名市立大山田西小学校	桑員支部
〃	安部航希	鈴鹿市立愛宕小学校	鈴鹿支部
〃	松上拓真	亀山市立井田川小学校	亀山支部
〃	北口花乃	津市立神戸小学校	津　支部
〃	菊地莉央	松阪市立天白小学校	松阪支部
〃	倉野　栞	伊勢市立佐八小学校	伊勢度会支部
〃	松尾朱倫	志摩市立布施田小学校	志摩支部
〃	松永晴登	紀北町立船津小学校	尾鷲支部
〃	山田理彩	御浜町立尾呂志学園小学校	南紀支部
〃	西上知希	名張市立桔梗が丘南小学校	伊賀支部



歯の衛生週間・三重県審査の結果

受賞の言葉

母と子のよい歯のコンクール最優秀

脇田直子さん・大輔くん

私が歯を大切にしようと思ったきっかけは、小学６年生の時、学校代表として歯のコンクールに出場したことです。地区の大会で最優秀とまではいきませんでしたが、きれいな歯を持っていることを大変誇りに感じました。

その時の担任の先生は、当時は珍しいことだったと思うのですが、食後の歯磨きを指導して下さいました。給食の後、皆でベランダに並び、談笑しながら歯を磨くのがクラスの日課でした。そこで身についた楽しく歯磨きをする習慣が、私が歯を大切にする基盤となっています。

いま、子どもの歯と口の健康のために実践していることが二つあります。

一つ目は一緒にお風呂に入り、湯船につかりながら歯磨きをすることです。もちろん１日３回、歯磨きはするのですが、この就寝前の歯磨きを一番丁寧に行っています。まずは湯船につかって子どもと顔を見合わせながら真似をさせます。子どもは手が短いためか利き手側の歯は磨きにくいようです。右上の歯を磨くのは至難の業。縦に歯ブラシを動かすのも難しいようです。教えながら、おだてながら、ひととおり自分で磨かせ、その後仕上げ磨きを行います。大切なスキンシップとコミュニケーションのひと時です。

もう一つはよく噛むことを教えています。しっかり噛むことは顎の発達や脳の刺激にも役立つと聞いています。柔らかいものばかりでなく、しっかり噛まないと飲み込めないように大きくカットしてある野菜やお肉を食べさせる工夫もしています。

食事は一生の楽しみであり、健康や元気の源です。いつまでも自分の歯でおいしく食事をいただけるよう、今後も楽しく努力をしていきたいと思います。



審査風景

母と子のよい歯のコンクール
よい歯の児童生徒審査表彰
審査委員

三重県健康福祉部健康づくり室副参事	若尾典子
三重県教育委員会生徒指導・健康教育室充指導主事	櫻井　香
三重県歯科医師会副会長	中井孝佳
三重県歯科医師会常務理事	羽根司人
三重県歯科医師会理事	杉原信久
三重県歯科医師会理事	福森哲也
三重県歯科医師会公衆衛生委員	

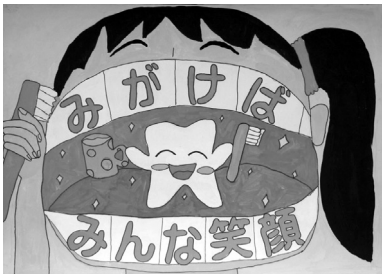
平成23年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

〔小学校低学年の部〕　図画・ポスター



●最優秀	湯浅桜子	桑名市立益世小学校	1年	桑員支部
2位	福田彩人	亀山市立関小学校	2年	亀山支部
〃	瓜生銀河	尾鷲市立矢浜小学校	2年	尾鷲支部
〃	下仮屋有咲	名張市立百合が丘小学校	1年	伊賀支部
3位	伊藤政宗	四日市市立東橋北小学校	2年	四日市支部
〃	矢橋駿大	鈴鹿市立稲生小学校	2年	鈴鹿支部
〃	溝田純平	伊勢市立明倫小学校	2年	伊勢度会支部
佳作	竹尾　聖	津市立明小学校	1年	津支部
〃	木下祐翔	松阪市立徳和小学校	2年	松阪支部
〃	藤原綾乃	志摩市立成基小学校	2年	志摩支部
〃	桒原芙羽	熊野市立飛鳥小学校	3年	南紀支部

〔小学校高学年の部〕　図画・ポスター



●最優秀	芝合亜美	御浜町立御浜小学校	5年	南紀支部
2位	伊左治史佳	四日市市立大矢知興譲小学校	4年	四日市支部
〃	伊藤優衣	鈴鹿市立愛宕小学校	6年	鈴鹿支部
〃	岩間桃子	亀山市立昼生小学校	6年	亀山支部
3位	山川竜也	松阪市立第一小学校	6年	松阪支部
〃	小林望華	伊勢市立御薗小学校	6年	伊勢度会支部
〃	中村友美	伊賀市立依那古小学校	4年	伊賀支部
佳作	野々枝音	いなべ市立白瀬小学校	5年	桑員支部
〃	萩原一葉	津市立新町小学校	6年	津支部
〃	中世古智洋	鳥羽市立弘道小学校	5年	志摩支部
〃	直江篤樹	紀北町立相賀小学校	4年	尾鷲支部

〔中学校の部〕　ポスター



●最優秀	中村瑞希	松阪市立西中学校	3年	松阪支部
2位	酒井なつき	鈴鹿市立白子中学校	3年	鈴鹿支部
〃	橋本紗弥子	伊勢市立倉田山中学校	3年	伊勢度会支部
〃	岡本有加	御浜町立御浜中学校	3年	南紀支部
3位	瀬古里帆	桑名市立正和中学校	3年	桑員支部
〃	服部彩希	四日市市立朝明中学校	3年	四日市支部
〃	小林綾音	亀山市立中部中学校	2年	亀山支部
佳作	甲斐夏貴	三重大学教育学部附属中学校	2年	津支部
〃	黒菜々穂	尾鷲市立尾鷲中学校	3年	尾鷲支部
〃	石田　葵	伊賀市立緑ヶ丘中学校	3年	伊賀支部

審査講評

津市立黒田小学校 校長　古金谷初美

歯・口の健康を推進する運動の一環として取り組まれている「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」へ県下から386校、10,219点もの応募がありました。その中から、小学校低学年の部11点、小学校高学年の部11点、中学校の部10点について、慎重に審査を行いました。

今年度の作品は、それぞれに気持ちが込められていましたが、全体的によく似た傾向でおとなしい感じを受けました。

まず、小学校低学年の作品は、パスや色画用紙の効果をうまく使い、歯磨きの様子が伸び伸びと表現されていました。特に県代表の湯浅さんの作品は、迫力満点の大きな口が真正面から描かれていて、表情や色の組み合わせも効果的で、力強く引きつけられる作品でした。２位・３位の作品も一生懸命歯を磨いている様子が表情豊かに描かれており、歯ブラシの持ち方を意識して描こうという努力を感じました。

小学校高学年の作品は、「良い歯」であることにより笑顔になれる、だから歯を大切にという笑顔の作品が目立ちました。県代表の芝合さんの作品は、大きく開けた口の中に、今流行のゆるキャラ風のオリジナルキャラクターが登場しており、楽しい作品になっていました。２位・３位の作品も歯を大切にと呼びかける気持ちが伝わってきました。

中学生の作品は、個性的で技術が高く、表現内容の工夫や作品への強い思い入れを感じました。特に県代表の中村さんの作品は、丁寧に描かれており、技術も高く目を引きました。おかあさんの赤ちゃんへの愛情が伝わってきました。２位・３位の作品も、構図や配色の工夫、作者の意気込みが伝わってきました。

今後も、あらゆる角度から「歯や口の健康」の大切さを考えた、アイデアのいっぱい詰まった作品を期待しています。そして、図画やポスターの作品を通して、「口や歯の健康」を守る運動が一層広がることを願って審査講評とします。

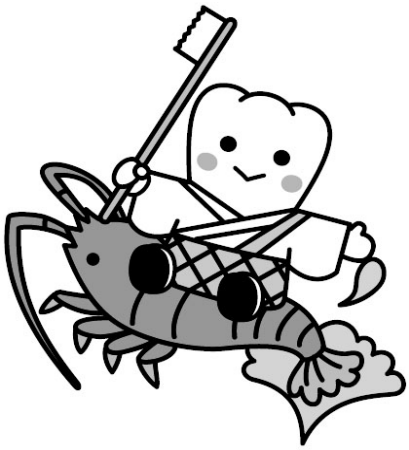


審査風景

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査委員

津市立修成小学校校長	稲 垣 雅 敏
津市立黒田小学校校長	古金谷初美
三重県教育委員会生徒指導・健康教育室主幹	奥 田 英 紀
三重県歯科医師会常務理事	羽 根 司 人
三重県歯科医師会理事	杉 原 信 久
三重県歯科医師会理事	福 森 哲 也

支部長メッセージ＆歯の衛生週間事業レポート



今年も６月４～10日の歯の衛生週間には、三重県歯科医師会各支部がそれぞれの地域で県民の歯と口の健康を願って様々な事業を行いました。各支部の事業の様子を、今期各支部を率いる支部長からの言葉とともに報告します。



県下11支部の支部長

＜後列左から＞　浅野支部長（四日市）・矢谷支部長（伊賀）・渡部支部長（鈴鹿）
服部支部長（桑員）・鎌谷支部長（津）・長井支部長（松阪）
＜前列左から＞　須川支部長（南紀）・宮澤支部長（尾鷲）・福田支部長（伊勢度会）
落合支部長（亀山）・山本支部長（志摩）

桑員支部



服部（はっとり） 修（おさむ）　支部長

桑員支部では「歯科疾患が全身の健康に大きく関係する」という認識のもと、地域の企業に対し、特定健診の一環として歯科健診・歯科保健指導を行っていただくよう働きかけてきました。５年前にスタートした企業健診事業は当初は1,000人未満の規模でしたが、昨年度には６社、約3,300人が受診するまでに至り、支部事業の中でも大きな位置を占めるようになっています。今年３月にはトヨタ関連部品健康保険組合と豊田加茂歯科医師会の共同調査で、定期的に歯科を受診している人は全ての病気にかかる年間の総医療費が低くなる傾向があったと報告されています。こうした調査結果等も示しながら、地域住民や企業、行政に対して歯科医療の重要性をなお一層、アピールしていきたいと考えています。

歯の衛生週間　審査・表彰式



６月９日(木)、桑名市民会館小ホールで平成23年度歯の衛生週間事業の最終審査と表彰式が行われました。桑員地区の各小学校から推薦された「よい歯の児童」37校41名、中学校から推薦された「よい歯の生徒」11校12名と、３歳児歯科健診で選出された「よい歯の親子」21組42名を対象に、第２次審査（口腔内診査）を行い、優秀者を選出しました。

その後に行われた表彰式で、事前に審査をした小学生低学年の図画64点と小学生高学年のポスター18点、中学生のポスター18点の優秀作品とともに表彰しました。講評では髙阪副支部長がプロジェクターを使って「ひみこのはがいーぜ」について分かりやすく説明、よく噛むことは健康に繋がることを伝えました。図画ポスターの部の講評では、桑名市立成徳中学校の塚脇教頭が１点ずつ詳細に紹介。「個性的で生き生きとした作品が多く歯磨きが楽しそうになります」と述べられました。式典終了後の受賞者の皆さんは自分の「口」に自信を持たれた様子でした。

（取材：水野祥幸）

四日市支部



浅野年嗣（あさの としじ）　支部長

四日市支部は平成24年に法人設立50周年を迎えることとなり、記念事業を企画しています。同時に、公益法人制度改革に当たっては当面は非営利型一般法人を選択し、しかる後に公益法人化を模索していくこととなりました。

先の東日本大震災に際しては会員から203万円余りの義援金が寄せられ、これに会の非常資金を加えて、一般被災者に150万円、被災会員に150万円が各々新聞社、県歯会を通じて送られました。昨年、ＡＥＤを全診療所に貸与したことは、行政や医師会等、各方面から評価を受け、まとまった数の貸し出しや問い合わせが来ています。当支部で催される学会や研修会については、県歯ホームページを通じてお知らせしますので、他支部の先生方も奮ってご参加下さい。

恒例の「よい歯のコンクール」開催



四日市支部ではコンクールに先立ち、５月26日の中日新聞ホームニュースに「歯の衛生週間」の広告を掲載。「母と子のよい歯のコンクール」は19組の母子から、「よい歯の児童生徒」は四日市市及び三重郡の各学校から小学校６年生49名、中学校３年生28名を対象に、▽虫歯▽歯肉▽歯並び▽咬み合わせ▽歯の清掃状態―等を総合的に審査・判定しました。「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」は小学校図画の部52点、小学校ポスターの部101点、中学校ポスターの部14点の中から歯科保健の啓発にふさわしい作品を審査・選出しました。

表彰式は６月９日(木)、四日市市総合会館で四日市市の田中俊行市長や市議会議長ら多数の来賓の臨席のもとで開催され、その模様は地元CTYテレビ「ニュースエリア便」で報道されました。図画・ポスターコンクールの応募作品は６月２日～９日まで同会館の１階ロビーに展示され、大勢の市民が数々の力作を楽しんでいました。

（取材：伊藤　誠）

鈴鹿支部



わたなべようぞう
渡部洋三　支部長

鈴鹿市は、この４月に中部地方で初の女性市長が誕生し、生まれ変わろうとしています。鈴鹿支部も公益法人制度改革の移行申請書を今年中に提出し、平成24年４月からは、一般社団法人非営利型として新たにスタートを切れるよう全力を挙げています。移行後もしばらくは、公益事業を重点的に行っていきますが、公益目的支出計画が終了して、純粋な一般社団法人となりましたら、自由な発想で事業を計画し実行していきます。また、会費等の見直しをして、会員による会員のための入会しやすい会にしていきます。事業については例年通りですが、今年から歯周病検診を始める予定で準備を進めています。また、11月には三重県歯科保健大会が鈴鹿市で開催されますので、県歯に協力して準備していきます。

雨中の開催も中高年の来場者増える



６月２日(木)、鈴鹿市保健センターで平成23年度の歯の衛生週間事業が行われました。「よい歯の児童生徒」「8020いい歯のコンクール」の地区審査に加え、歯科相談、歯科健診、歯科関連のクイズコーナー、歯科衛生士会による虫歯菌や歯周病検査等の多彩なコーナーが設けられ、さらに今年は東日本大震災の被災者支援の義援金箱も設置しました。

当日は午前中に大雨警報が発令されるあいにくの天候で、来場者は昨年よりやや減少したものの、ブラッシング指導コーナーやお口の体操展示コーナーにはたくさんの人が列を作っていました。また、「よい歯の児童生徒」の審査会場では、鈴鹿市のマスコットキャラクター・ベルディ君も登場し、子どもたちと記念撮影等が行われました。

以前はフッ素塗布を実施していたこともあり、来場者の多くが乳幼児を含む親子連れでしたが、最近では中高年の方も増え、歯と口の健康への関心の高まりが感じられます。高齢化社会を迎え、歯科疾患の予防についての正しい知識を広める啓発活動の大切さを再認識しました。

（取材：元橋庸好）

亀山支部



落合（おちあい） 力（つとむ）　支部長

支部長就任に当たりご挨拶させていただきます。まずは、東日本大震災の被災者の方々にお見舞い申し上げます。亀山で開業し歯科医師会に入会してから早23年の年月が経ち、少しは地域医療に役立つことができたかと自負しておりますが、このたび支部長に任命され身が引き締まる思いです。当支部は一般法人への移行という課題を抱えていますが、レセプト電子請求への移行等についても、適切に対応していきたいと考えています。歯科界全体に目を向けても、社会保障制度の改革から離職歯科衛生士の復職に至るまで多くの課題がありますが、会員と協力して少しでも地域医療をめぐる環境が改善されるよう努力していく所存です。他支部の先生方にもご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

歯科相談も盛況



6月2日(木)、亀山市総合福祉センター及び関健康センターの2か所を会場に、支部会員及びそのスタッフ、県職員や職場体験の学生さんたちの協力も得て、歯の衛生週間事業を実施しました。当日はあいにくの天候でしたが「フッ素塗布・無料歯科健診・よろず歯科相談」には、亀山地区135名・関地区38名（健診22名）の地域の皆さんが来場され、ブラッシング方法や歯と口の健康管理に関する疑問等、様々な相談が寄せられました。

「母と子のよい歯のコンクール」では、対象者449名から選出された9名について口腔内診査を含む最終審査を行いました。その後、副市長が子どもたち一人ずつに声をかけての表彰式。お母さんたちからは、「表彰式に来てよかった」「今後も虫歯が出来ないようにしっかり磨こう」といった声が多く聞かれました。生涯充実した健康な生活を送っていただくためにも、歯の衛生・歯科疾患の予防の重要性を実感してもらえる良い機会となったようです。

（取材：山田敏彦）

津支部



前期に引き続き２期目の支部長に選出していただいたことは誠に光栄に感じています。とはいえ、決して強い指導力を持ち合わせているわけでもなく、日々迫りくる会務を粛々と行っていくことが私の仕事であると思っています。公益法人制度改革への対応については前支部長時代より議論を重ねてきました。公益的な法人としての歯科医師会のあり方と共益的な存在意義、各会員の思いは様々です。そんな中で公益社団法人への総会決議に至ったことは、高い会員意識の表れであると誇りに感じるとともに、これからの活動を支えていく人材育成が、重要な課題であると思っています。

かまたに よしと
鎌谷義人　支部長

さらなるＰＲ活動を



津支部では毎年、歯の衛生週間に「歯の健康展」を開催しています。

今年も６月５日(日)、津リージョンプラザを会場に、歯科医師会はもとより歯科衛生士会、歯科技工士会、公衆衛生学院、地域活動栄養士連絡協議会、食育改善推進協議会、教育委員会、学校保健会等各種団体のスタッフが集結。それぞれのブースに多くの市民を迎えました。

並行して午前中には「よい歯の児童生徒」コンクールの審査及び表彰式と「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」表彰式が、午後には「いい歯の8020コンクール」「親と子のよい歯のコンクール」の審査及び表彰式が行われました。午後の表彰式には多忙な中、津市の前葉泰幸新市長も駆けつけてくれました。

健康展は例年通りの盛況でしたが、その一方でコンクール等の参加者がやや減少傾向にあるのが気がかりでもあります。今後もこうしたイベントをきっかけに歯の健康についての関心を高めてもらうため、会としてのＰＲ活動も改善していきたいと考えています。

（取材：中村仁大）

松阪支部

昨年度、三重県が発表した県下29市町の12歳児ＤＭＦ指数で、松阪地区は大台町こそ７位だったものの、明和町17位、松阪市18位、多気町29位という残念な結果でした。

そこで、昨年より改めて各地区で行政、地域住民、幼稚園、保育園の方々との協議会を重ね、今年度からは明和町が、大台町をモデルケースとして新たな乳幼児の健診事業や幼稚園、保育園でのフッ化物洗口事業を始めることが決まりました。他の地区でも根気よく協議を続けて、今後は全ての地区で新たな協力体制が築けるように頑張りたいと思います。



長井雅彦（ながい まさひこ）　支部長

マスメディアも驚く高齢者の「歯っぴいライフ」



松阪支部の「歯の健康まつり」。平成元年から始まったこの事業は今年で23回目を数え、よい歯のコンクールの審査・表彰、親と子のよい歯のコンクールの表彰の他、歯科・矯正歯科・小児歯科の相談コーナーや歯科衛生士会によるブラッシング指導等、市民と触れ合いながら歯・口腔の健康についての啓発、指導を行っています。

中でも、注目を集めているのが「歯っぴいライフコンクール」。これは平成４年に「おじいちゃん、おばあちゃんのよい歯自慢」として始まったもので、70歳以上で20本以上自分の歯がある方を募り、審査・表彰してきました。最初の年は26名の参加でしたが、その後年々応募者が増加し、現在では先着50名に限らなければならないほど。取材に訪れる記者の方々は「高齢者イコール歯が悪い」というイメージがあるようで、コンクール参加者はたくさん歯が残っていることに加えて、全員スイスイと健診の場と控え室を往復し、コンクールの後には自分の足で階段を昇って２階の食堂に移動し、歯科医師会の会員と同じお弁当を召し上がる姿にびっくりしています。これからもよい歯を保つことが健康長寿につながることを、もっともっとアピールしていきたいと考えています。

（取材：北野　晋）

伊勢度会支部



福田幸弘（ふくだ ゆきひろ）　支部長

伊勢度会支部の新執行部は、役員の平均年齢がかなり若くなりました。現在、取り組んでいるのが、会員や地域住民の皆様にいかにして情報発信をしていくかということです。これまでの伝達方法に加え、会員へのメール発信、ホームページの充実、更新等、いろいろと企画・実行しています。

６月５日には例年通り「歯の衛生週間」事業を実施、昨年度から継続事業となっている市民向けの啓発事業や、以前から取り組んでいる口腔粘膜疾患、特に口腔癌に関する事業の推進等も企画・検討しています。まだスタートラインに立ったばかりですが、時代のニーズに合わせた会にしていきたいと思います。

観光戦隊イセシマンがメダル授与



６月５日(日)、ハートプラザみそので平成23年度歯の衛生週間事業を行いました。「親と子のよい歯のコンクール」には事前審査をパスした40組から、「よい歯の児童生徒」は伊勢・度会の小・中学校59校の学校歯科健診で選ばれた30名から、「歯・口の健康に関する図画ポスター」は参加総数3,454点の中から小学校低学年・小学校高学年・中学生について選考。80歳以上のお口の健康な方を審査表彰する「よい歯でいきいきコンクール」では、書類審査で選ばれた20名に最終審査に参加していただきました。

全員がホールに集合して行われた表彰式には、伊勢志摩をＰＲするために結成されたローカルヒーロー「観光戦隊イセシマン」が登場。虫歯予防についての寸劇が披露された他、参加した幼児にはイセシマンからメダルが授与されるという趣向。式の終了後、ロビーで金メダルをかけ自慢のぴかぴかの歯と一緒に笑顔で写真を撮っている親子や、イセシマンと嬉しそうに並んで撮ってもらっている子どもたちの姿が印象的でした。

（取材：福井 源）

志摩支部



やまもと おさむ
山本 修　支部長

東日本大震災の復旧、復興の見通しがまだまだ立たず、原発の事故処理にも厳しい状況が続いている中、被災された方々の粘り強い頑張りに対して心から敬意を表したいと思います。私たちも会員として、また一個人として今後も長い目での支援が必要だと思います。しかし、一方では国の財政が厳しさを増し、歯科を取り巻く状況もますます難しいものになると予想されます。

そんな中で私たちの支部では会員の協力により、よい歯のコンクールを発展させた「お口の健康まつり」を開催することができました。こうした啓発活動を通じて地域の皆様のお口の健康を守り、ひいては私たちを取り巻く環境を少しでも改善できるよう頑張っていきたいと思います。

「お口の健康まつり」開催



6月12日(日)、志摩市磯部町の生涯学習センターにおいて、平成23年度鳥羽志摩地区「よい歯のコンクール」「歯・口の健康に関する児童生徒図画ポスター展覧会」を開催。志摩市職員、教育委員会、お達者サポーター、歯科衛生士会、歯科技工士会の方々の協力のもと、250名余りの参加を得て盛大に執り行われました。

会場には、▽健康クイズ▽片足立ち測定▽足指力測定▽血管年齢の測定▽介護予防お口の健口体操▽お口の相談▽キャラクター塗り絵▽エプロンシアター▽カムカムガム▽風船▽フッ素塗布―と様々なブースが設けられ、来場された方々に、楽しみながら健康について学んでいただきました。

表彰式では、お達者サポーターによるピカレンジャーショーも行われました。

（取材：大山 洋）

尾鷲支部

尾鷲支部は会員数22名、しかもそのうち終身会員が７名という小規模な団体ですが、会員相互が協力し、全員参加で各種事業に取り組んでいます。

皆が何でも気兼ねなく話すことができるフレンドリーな雰囲気が当支部の特徴です。これからも会員の和を大切にしていきたいと考えています。

日々の仕事においては、例年以上に茨多き道が予想されますが、苦しい状況の時こそ笑顔を絶やさず「初診忘れるべからず」を指針として邁進する所存です。



みやざわあきとし
宮澤彰敏　支部長

「よい歯の児童生徒」姉弟がともに最優秀



県教育委員会、尾鷲市等の協力のもと、今年も歯の衛生週間事業が行われました。「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」には1,079点の応募があり、各校の審査を通過した207点を２次審査。特選図画には瓜生銀河君（矢浜小２年）、直江篤樹君（相賀小４年）が、特選ポスターには毎年、力作の応募がある尾鷲中から黒菜々穂さんの作品が選出されました。

「母と子のよい歯のコンクール」では、３歳児歯科健診を受けた母子243組の中から９組を選出、さらに最優秀１組・優秀１組を決定しました。最優秀の芝原里美さん・くるみさんは第１子に続いて２度目の受賞です。「よい歯の児童生徒コンクール」は小学校14校・中学校４校から18名の代表が２次審査に臨みましたが、松永晴登君（船津小）と松永智雪さん（三船中）が姉弟で最優秀に選出されるという結果に。歯質や生活習慣が良かったのか、旧海山町が保育園児を対象にフッ化物洗口を含む保健指導を続けてきた成果なのか、興味深いところです。

この他、市福祉保健課の保健師が市内６保育園・３幼稚園で巡回指導も実施。尾鷲市ではフッ化物洗口事業を全ての園で実施できるよう体制を整えています。

（取材：松井俊哉）

南紀支部



須川洋一（すがわ よういち）　支部長

会員25名からなる南紀支部ですが、近年新規入会がなく、会員の高齢化が進んできています。継続事業では経験の豊かさが力になりますが、新規事業に取り組むには、40、50代の会員に負担がかかりすぎてしまうのが悩みです。それでも会員の多くが熱心に協力してくれるおかげで、少人数でもなんとか支部事業が実施できている状態です。

また、当地域は三重県下でも児童のう蝕有病者率が高く、未処置の本数も多くなっています。これを改善していくには、学校、行政、歯科医師会の協力が必要です。歯と口の健康に係る専門家の会として、少しでも貢献できたらと思っています。

これからの２年間も引き続き、支部会員一致団結して事業を行い、親睦も深めたいと願っています。

母と子の素敵な思い出に



南紀支部での歯の衛生週間事業、今年は６月２日(木)に御浜町中央公民館で「よい歯の児童生徒」「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」審査が、南郡紀宝町保健センターで「母と子のよい歯のコンクール」審査が行われました。

「よい歯の児童生徒」は小学校の部で山田理彩さん（尾呂志学園小学校６年)、中学校の部で南 有紀さん（尾呂志学園中学校３年）が１位に選ばれました。図画・ポスターでは小学校低学年は桒原芙羽さん（飛鳥小３年)、高学年は芝合亜美さん（御浜小５年)、中学校では岡本有加さん（御浜中３年）が金賞に選ばれました。受賞作品は公民館に隣接する「ピネ」に展示されました。

「母と子のよい歯のコンクール」では、３歳児歯科健診で虫歯が１本もなく、かつ母親も虫歯が４本以下の母子を対象に審査。11組の中から、熊野市井戸町の坂口薫さん・雄基君親子が選ばれました。こうしたコンクールに参加することは、子どもたちにとってもお母さんたちにとっても、素敵な思い出として心に刻まれるでしょう。

（取材：畑中保宏）

伊賀支部



矢谷憲一郎（やたにけんいちろう）　支部長

最初に、今回の東日本大震災でお亡くなりになられた方々に対しまして心より哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に対しましても一日も早い復興をお祈り申し上げます。毎日を平穏に暮らせることが、いかにありがたく幸せなことかを実感いたしました。

上野、名張両支部が合併し伊賀歯科医師会として発足してから５年目に入りました。伊賀市、名張市とも四方を山々に囲まれた内陸に位置する緑豊かな美しい町で、比較的昔から災害も少ない所なので感謝しております。

今後とも、支部会員一丸となって伊賀市、名張市の市民の健康にお役に立つ歯科医師会になるよう努めさせていただきます。

日曜開催、家族参加で賑やかに



６月５日(日)、阿山保健福祉センターで「よい歯のコンクール」が行われました。これまでは木曜開催でしたが、今年は日曜に変更し、ご家族の方々にもご参加いただいての開催。初めての試みでしたが、会員や関係団体の協力によりスムーズに進行し、歯の衛生の大切さを大いに啓発することができました。

当日は審査と並行して歯科パネル展示コーナー、歯科技工士会によるクラウン・義歯等技工模型の展示紹介コーナー、歯科衛生士会による口腔衛生に関する展示紹介コーナー、無料歯科健診コーナー等が設けられた他、ＴＶ番組『歯チカラ』ＶＴＲの上映が行われ多くの参加者の関心を集めていました。各コンクールには、母子1,315組の応募から10組、伊賀市・名張市の小・中学校から小学生42名、中学生11名が参加し、図画ポスターは、優秀作品小学校２点、中学校１点が展示されました。表彰式では、たくさんのフラッシュの中、最優秀賞・優秀賞の授与が大きな拍手とともに行われました。この様子は地元ケーブルＴＶや地域情報誌等のインターネットニュースで報道されました。

（取材：関田英紀）

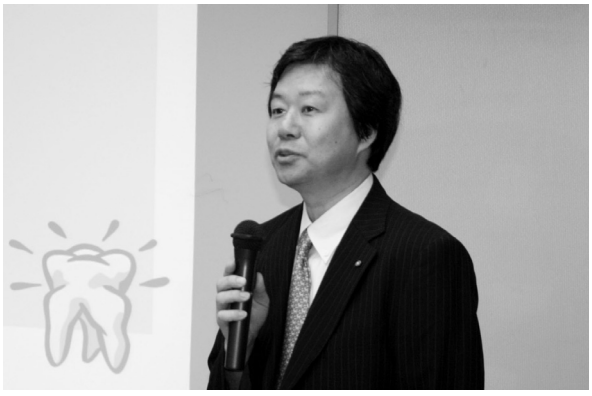
2011・8.9

歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業
第１回　歯科衛生士研修会

平成23年６月16日（木）
三重県歯科医師会館



平成23年１月から始まった三重県の歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業は開始当初から積極的に活用が進み、多くの離職歯科衛生士の現場復帰につながっている（６月末に予算額に達したため募集は終了）。本事業にはスキルアップのための実践研修が組み込まれており、６月16日(木)に復職を果たした歯科衛生士を対象にした研修会が開かれた。第１回となるこの日は、東京からHM's collectionの歯科衛生士、金子菜美江・福田知恵子両氏を講師に迎えて「苦手克服インスツルメンテーション（基礎)」と題した講演と実習が行われた。午前中は金子氏がプローブ・エクスプローラー・グレーシーキュレットの操作法について講義、午後は福田氏がインストラクターとなりシャープニングの実習。基礎的な手の動かし方から臨床で活かせる実践的なものまで１日コースながら内容の濃い研修で、53名の参加者は皆、熱心に受講していた。秋には第２回研修会として応用編の開催が予定されており、受講者のさらなる成長が期待される。



挨拶する辻(哲)常務理事



金子菜美江氏（左）・福田知恵子氏（右）





受講者体験記①　松阪市・浜口意織さん

私が歯科衛生士として働いたのは卒後１年だけで、結婚・妊娠のためすぐに仕事から離れてしまいました。子どもたちも成長し、もう一度歯科衛生士として働きたいという思いは募ったのですが、長いブランクがあるため自信が持てずにいるうちに10数年が経ってしまいました。

今回、意を決して歯科衛生士として復帰しようと面接を受けた時、再就職支援緊急雇用創出事業制度のことを聞き、本当に運が良かったと思いました。また、研修会を受講して歯科衛生士としての心構え、インスツルメントの基礎や操作、シャープニング等を詳しく丁寧に教えていただき、とても勉強になりました。10月に行われる２回目の研修会に向けて宿題も出していただいていますし、それまでに自分が少しでも成長できているように頑張りたいと思います。

受講者体験記②　桑名市・遠藤明子さん

私が歯科衛生士学校に入学した頃、教材として学校から渡されたのは鎌形スケーラー。いつも鎌形スケーラーでの実習ばかりで、キュレットについて学んだ記憶は全くありません。今回の講習で教えていただいたことは、どれも初めて聞くことばかり。鎌形スケーラーをシックルスケーラーと呼ぶように変わっていることにも驚きました。シャープニングの実習で感じたのは、毎日使っているスケーラーが、こんなにも切れないスケーラーだったという驚きと、それが短時間のシャープニングで見違えるように使える物になるのだという驚き。「ああ、早くこのスケーラーを使って歯石を取ってあげたいな」と思いながら、自宅で残りのスケーラーをシャープニングしました。

今まで講習会に参加したことがなく、今回が学校卒業後初めての勉強の場。最初はあまり気が進まなかったのですが、本の上だけでの勉強と違い、日々実践している中での勉強会は、これからもこの仕事を続けていくうえでとても大切なことなのだと実感しました。









受講者体験記③　伊勢市・坂田沙衣子さん

私は結婚を機にそれまで勤めていた大阪の歯科医院を退職したのですが、初めて住む伊勢市で約半年ぶりに再就職。この研修会に臨むことになりました。

実習では、講師の方が一人ひとり丁寧に指導して下さったので、私が苦手なシャープニング方法を再確認することができました。また、今さら聞けないと思っていたようなことも気軽に質問できました。

隣同士でペアになって実習したり、お昼ご飯を一緒に食べながらお互いの現状を話したり、同じような環境の歯科衛生士と交流を持つことができたこともよい経験でした。

今回の研修会で学んだことを活かして、これからも歯科衛生士として患者さんたちの健康維持のサポートをしていきたいと思います。







平成23年度
歯科助手講習会



今年も恒例の歯科助手講習会が、全４日間の日程で開催された。今年度は担当役員にも入れ替えがあり新たなメンバーでの運営。辻(哲)常務理事、桑名理事、４名の医療管理委員に外部講師も招いてのカリキュラムを県下歯科診療所に勤務する88名の歯科助手が受講した。

第１日目
４月17日（日）

保険の仕組みと接遇マナーを学ぶ

午前の部は社会保障担当の大杉常務理事が「保険診療と医療事務の基本」と題して医療保険制度の仕組みや医療事務の基礎知識などを解説した。午後の部は東京からオフィスプレイズ代表の目賀田美奈子氏を招いての「歯科助手の心得と一般教養・接遇向上セミナー」。医療人としての心のあり方、患者さんや他のスタッフとの接し方について、お辞儀・言葉づかい・目線等、挨拶に軸を置いた内容だった。





第２日目
4月24日（日）

消毒法や救急処置等について講義

講習２日目は、今回初めての試みとなるプレテストを実施。受講者の基礎知識の現状を把握したうえで講義に入った。辻(哲)常務理事からは「歯学概論と消毒法」について講義。歯科界に入ったばかりの歯科助手たちに、過去から現在に至る歴史を踏まえつつ、歯科医療の現状を解説。消毒法については、医療人としてのモラルを説いたうえで、実状に沿った内容とした。桑名理事は「歯科における基礎知識」「救急処置」について講義。今年度より新しくなったテキストに沿ってより基礎的な内容となった。





第３日目
5月19日（木）

１日コースで各種実習

３日目は１日コース。(株)GCのスタッフと医療管理委員がインストラクターとなり、▽アルジネート印象及び石膏練和▽シリコン印象▽セメント練和▽バキューム操作―等の実習を行った。歯科助手として働き始めて１年未満のスタッフばかりとあってまだまだおぼつかない手つきが目立ったものの、受講者たちは皆、懸命に取り組んでいた。





第４日目
６月19日（日）

医療管理委員が各分野について講義

４日目は５月29日(日)に予定されていたが、台風２号の影響で延期されての開催。県歯医療管理委員が講師となって口腔外科・保存修復・補綴・インプラント・歯周病・歯科矯正等、歯科臨床の基本についての講義を行った。基本とはいえ歯科医療の世界に入ってまだ数か月の受講生も多く、専門用語等も含む内容はやや難しかったようだ。

この日の講義で全日程を修了し、最後に辻(哲)常務理事から受講者に履修証書が授与された。

受講者体験記♪

● 四日市市・浅川友稀さん

一番印象に残っているのは初日に行われたビジネスマナーの講習です。患者さんへの言葉遣いや礼をする時の姿勢や角度、立ち位置まで、細かく教えていただきとても勉強になりました。３日目に行われた実習は初めてのことばかりで、なかなかうまくできませんでしたが、セメントやシリコン印象材の練り方、型の取り方、バキューム等、ひととおりの手順は理解することができました。講習会で学んだことを活かして、これから精一杯頑張っていきたいと思います。貴重な講習会を開いていただきありがとうございました。

● 四日市市・本折 綾さん

４回にわたる講習で、歯科治療や医療事務に関わる保険制度について、基本的なことからあまり理解できていなかった専門的な部分まで、詳しく知ることができました。患者さんの歯科に対する期待や不安について改めて考えることもできました。３日目の実習では、初めて直に器具や薬品に触れて一気に緊張感が高まりましたが、何も分からない私たちに講師の方々が丁寧に扱い方を教えてくださり、頭でも身体でも理解することができました。講習を通じて自分には歯科助手としての自覚や知識、患者さんに対しての気配りもまだまだ足りないことを痛感しました。今回の講習を活かしながら一歩一歩、力をつけていきたいです。

● 伊賀市・根本美沙貴さん

まったく知識がないまま飛び込んだ歯科の世界、戸惑ってばかりの毎日でしたが、院長に勧められて今回の講習会に参加しました。わくわくして迎えた初日、最初は保険診療の仕組みについての講義でした。私は普段受付を担当しておらず知識が浅かったので、とても勉強になりました。午後の接遇向上セミナーでは、特別な資格のいらない歯科助手は誰よりも患者さんに寄り添うことのできる立場であることや、接遇マナーが患者さんに信頼される手段であることを教わりました。３日目にはバキューム操作の実習で患者役を体験できたこともいい経験になりました。４日間の講習でしたが、他の受講者の方とも意見交換ができてとても有意義な時間でしたし、なんだか学校に通っているようで楽しかったです。今は半人前の私たちですが、この講習会で学んだことを活かして患者さん一人ひとりに寄り添うことのできる歯科助手になります。

平成23年度 歯科衛生士職業説明会

平成23年６月30日（木） 三重県歯科医師会館



６月30日(木)に歯科衛生士職業説明会が開かれ、今年も県下10高校から11名の担当教諭が参集した。

最初に辻(哲)常務理事が歯科衛生士の職務内容について、桑名理事が歯科衛生士の勤務時間・給与等について紹介。続いて、この会の眼目である現役歯科衛生士３名によるプレゼンテーションが行われ、自身の体験を元に歯科衛生士の職業としての魅力やそのやりがいについて熱く語った。

県下３校の歯科衛生士養成校からも詳細な学校紹介と学生募集要綱についての説明があり、参加した教諭たちからは多くの質問が寄せられた。

これを機に、歯科衛生士養成校への進学が魅力的な選択肢の一つであることが理解され、多くの高校生が歯科界を目指すきっかけとなることが期待される。

三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会では厚生労働大臣の許可を受けて、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした無料職業紹介事業を行っています。職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に応ずる職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

●求職者の場合

- 所定の求職票に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- 来館または電話にて、求人者の閲覧をする。
- 条件が合えば面接を行う。

●求人者の場合

- 所定の求人申込書に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- 来館または電話にて、条件の合った求職者を探す。
- 合否結果については、当紹介所に結果報告する。



※ 下記へ連絡いただければ関係書類を送付します。

社団法人 三重県歯科医師会
歯科医療技術者等無料職業紹介所
〒514-0003 津市桜橋２丁目120－２
TEL 059－227－6480

詳しくはWEBで！

検索 三重県歯科医師会無料職業紹介所

2011・8.9

みえ歯ートネット通信

http://www.dental-mie.or.jp/heartnet/

第３回運営協議会開催
ネットワークの活性化へ向けて議論



６月23日(木)、第３回みえ歯ートネット運営協議会が開かれた。平成21年度に三重県歯科医師会と県行政、障がい者支援団体の三者で設立された本協議会も３年目（ネットワーク始動からは１年半）に入り、委員の一部を刷新。協議会会長には県歯の峰会長が再任。副会長は再任の三重県自閉症協会の中野会長と新任の三重県健康福祉部森岡医療政策監に決定した。

会合では、県歯・杉原理事から22年度事業運営についての報告を受けた後、23年度事業計画について協議した。

障害者歯科医療に関わる取組みは他県等でも以前から行われているが、ネットワークを立ち上げはしたもののその後、形骸化に陥っているとの報告も耳にする。「みえ歯ートネット」では専用ホームページを活用したインタラクティブな交流を目指したが、十分に活用されているとは言い難い。今後、アンケート等を実施して実態を把握し改善に努めていきたい。

障害者歯科センター診療状況

６月

診療日	８日
診療担当者	常勤１名、非常勤４名 内訳・会員２名、大学２名
延患者数	159名

７月

診療日	７日
診療担当者	常勤１名、非常勤４名 内訳・会員２名、大学２名
延患者数	131名

６月理事会報告

平成23年６月７日（火）三重県歯科医師会館

各委員会から活発な事業報告

６月７日(火)、定例理事会が開かれた。今月は第一週に日歯臨時代議員会が開かれたため変則日程での開催。５月21日(土)の東海信越地区歯科医師会役員連絡協議会の各分科会について報告があった他、社会保障委員会からは行政指導関係、医療管理委員会はコ・デンタル関連の様々な事業の進捗状況、公衆衛生委員会からは10月開催予定の「歯の健康力推進歯科医師等養成講習会」の実施計画等が報告された。協議では６月支部長会、９月日歯代議員会、公益法人制度改革への対応について意見を交わした他、24年11月に三重県での開催が決まっている第11回警察歯科医会全国大会に向けた準備、今回の震災を受けての災害対応体制の刷新について、夜遅くまで議論が続いた。

会長報告

会長報告では、震災対応の４議案が決議された６月２日(木)の日歯第168回臨時代議員会について報告された。同日に都内のホテルで行われた日歯及び日歯連盟主催の「被災地復興に向けて元気を送る会」には、峰会長が日歯連盟副会長として、芝田専務理事が日歯代議員として、さらに三重県歯科医師連盟から橋本会長が出席。政財界を含め1,000人を超す参加者とともに被災県歯科医師会を激励した。

その他、次期診療報酬改定や社会保障制度改革の進捗状況、平成23年度の歯学部入試結果で私立歯科大を中心に11校が定員割れの状況となったこと等が報告された。

一般会務報告

- 無料職業紹介事業報告
  ５月分：求職８件、求人100件、紹介２件、まとまったもの２件
- ６・７月行事予定
- 議事運営委員会、選挙管理委員会、裁定審議委員会各委員の決定について
- 東日本大震災による被災者に対する義援金総額について（６/１現在）
  1,917,317円（66件）
- 平成22年度会計監査結果について

承認事項

- 会員数
  一般692名、勤務26名、終身129名、特別３名、法人８、合計858名
- 入会届の受理１名
  辻村政次郎先生（伊賀）
- 歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業について：申請10件について承認

委員会事業報告

【社会保障委員会】

・　共同指導（5/19・20)、新規集団指導（6/2）について

【医療管理委員会】

・　第２回医療管理委員会（5/19)、救急医療情報センター理事会（5/24)、第３回歯科助手講習会（5/19)、第４回歯科助手講習会の延期、歯科相談（２件)、近鉄名古屋線ＡＤトレイン、駅貼りチョイス、平成23年度医療管理講習会について



【学術委員会】

・　第２回学術委員会（5/19）について

【福祉厚生委員会】

・　互助会第１部の支給について（5/12～6/6申請分）

【公衆衛生委員会】

・　三重県歯科保健大会第１回実行委員会（5/19)、平成23年度第１回食育推進担当者会議（5/26)、三重県訪問看護ステーション連絡協議会役員会（5/29)、第２回三重子どものこころのネットワーク会議（5/29)、日本学校保健会評議員会（5/30)、歯の健康力推進歯科医師等養成講習会について

【広報編集委員会】

・　『日歯広報』コラム・都道府県通信、ＦＭ三重『はぴはぴ子育て』(6/3放送)、三歯会報・メルマガ発行等各種事業活動について

【企画調査委員会】

・　最新歯科医療実態調査の集計状況、日歯広報「会員モニター」の推薦について

【その他の報告】

・　障害者歯科センター報告
・　三重県警察医会理事会（5/19）
・　日歯 第１回税務委員会（5/25）
・　東海信越地区歯科医師会役員連絡協議会各分科会（5/21）



協議事項

・　支部長会の招集並びに附議事項について
・　公益法人制度改革の対応について
　　新定款の変更箇所及び説明事項について
・　会務並びに事業の運営について
　　第11回警察歯科医会全国大会の開催について
・　会館２Ｆ大会議室空調設備の改修工事について



6月支部長会報告

平成23年6月30日（木）三重県歯科医師会館

東日本大震災・口腔ケア活動支援に会員派遣
県民歯科疾患実態調査実施へ協力依頼



6月30日(木)、支部長会が開かれた。峰会長は東日本大震災に関連して、5月の身元確認作業に続いて、被災地での口腔ケア活動支援についても2名の会員を派遣することを報告した。また、同震災で被災した歯科医師会員に対する見舞金は、各支部の協力により9,764,000円に達し、被災各県への配分については協議の結果、執行部に一任された。

この他、芝田専務理事は一般会務報告の中で、第11回警察歯科医会全国大会の三重県での開催が正式に決まったことを明らかにした。羽根常務理事からは、三重県で6年ぶりに実施される県民歯科疾患実態調査の概要及びスケジュール案が示され、各支部に対して協力が依頼された。

会長挨拶



峰会長は挨拶の中で、6月2日(木)に東京で開催された「被災地復興に向けて元気を送る会～日歯・日歯連盟新役員との集い～」について報告した他、いわゆる口腔保健法について触れ、今国会での成立に向けて期待を示した。また、8020推進財団が4月1日付で公益財団法人となったことを報告。本会の公益社団法人認定申請に向けた準備も着々と進んでいると述べた。

さらに日本歯科医師会に総合政策検討プロジェクトチームが、日本歯科医師連盟に戦略検討プロジェクトチームが設置され、この両者が合同政策会議の場で連携していく新たな体制が構築されつつあることを紹介。東日本大震災の余波とその影響もあり混迷を増す政局の中で、歯科医師会における諸課題についての取組みが進んでいることを強調した。

会長報告

社会保障・税一体改革成案（案）についての見解と社会保障改革に向けての要望について

政府与党の社会保障改革検討本部で検討が進められている「社会保障・税一体改革成案」（６月30日に成案が決定された）に対して、６月17日(金)、日本医師会・日本歯科医師会・日本薬剤師会は連名で要望書を提出した。社会保障の強化に向け、医療介護に相当の資源（費用、マンパワー）を投入する方向性については評価しつつも、受診時定額負担や一部負担割合の引き上げには強く反対し、財源は保険料や税財源に求めるべきであるとしている。

次期診療報酬改定について

日医は診療報酬改定の見送りを求めているが、日歯としては改定実施の是非については慎重な議論を続けていくとしている。一方で22年度改定結果の分析等は着実に進めており、診療報酬改定が医療現場の評価に確実につながるよう働きかけていく。

歯科医師需給対策について

平成22年度の歯学部入試結果が明らかになった。今回も多くの大学歯学部で大幅な定員割れが生じている。日歯の総合政策検討プロジェクトチームの検討課題の一つになるだろう。

東日本大震災への対応について

身元確認作業に８名の会員を派遣したが、口腔ケア活動支援についても新たに２名の会員を派遣することになった。

歯科保健に関する条例について

口腔保健条例の制定については数年来働きかけを続けてきたところである。新政みえ及び自民党双方から前向きな動きが出てきており、委員会が設置される見込みである。条例が制定されれば各地域での歯科保健活動も進めやすくなる。各支部でも条例成立後にアクションが起こせるよう準備していただきたい。

一般会務報告

（芝田専務理事）



会員数

平成23年４月１日～６月１日の期間で入会６名、退会３名。現会員数858名。

議事運営委員会、選挙管理委員会、裁定審議委員会各委員の決定について

４月28日(木)に開催された第209回臨時代議員会の決議に従い選出された議事運営委員７名、選挙管理委員及び予備委員各11名、裁定審議委員７名が報告された（P.39参照）。

関係団体の役職について

日歯関連では地域保健委員会に羽根常務理事、税務委員会に太田常務理事、総合政策ＰＴに齋藤前常務理事が選出された。

歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業について

６月24日(金)現在で承認されたもの58件。申請中のもの６件を含めて予算額に達する見込みとなり、募集を終了した。

第11回（平成24年度）全国警察歯科医会全国大会の開催について

６月17日(金)付で日歯より三重県歯に対して正式に開催依頼があった。24年８月の開催に向けて準備している。なお第10回大会は岩手県での開催が決まっているが、日程は11月に延期されている。

委員会事業報告

【学術】（林理事）



平成22年度日歯生涯研修セミナー受講者数について

三重県の受講者数は講演形式に151名、DVD個人受講で２名。なお平成22・23年度日歯生涯研修事業第２期の統計データでは、三重県歯は参加率が88.3％で全国３位、平均取得単位数が24.7で全国18位となっている。

平成23年度第１回学術研修会の開催について

10月23日（日）

「最新の歯冠修復の考え方とテクニックの実際」

日本大学歯学部保存学教室修復学講座

宮崎真至教授

平成23年度支部学術研修会助成について

昨年度と同様の内容で助成を実施する。

【公衆衛生】（羽根常務理事）



8020運動推進特別事業について

フッ化物洗口推進事業は７支部11施設で、学校歯科保健指導は８支部16校（他に歯科衛生士会実施分３校）で実施する予定。

平成23年県民歯科疾患実態調査について

三重県歯科医師会が県健康福祉部の委託を受けて６年ぶりに実施される。三重の健康づくり総合推進事業の一環として、生活習慣病予防のための具体的な目標値の見直し及び健康づくり施策を展開するための基礎資料を得ることを目的としている。10～11月に実施。県内11地区で無作為抽出した3,000名を調査対象（約1,000名受診と想定）とする。８月中旬までに担当歯科医師及び歯科衛生士を決定し、９月25日（日）に調査精度向上のための説明会を開催する予定。

【社会保障】（大杉常務理事）

東日本大震災の被災者に係る窓口での取扱いについて

７月１日（金）以降は被災者であっても被保険者証の提示が必要になり、窓口負担免除のためには一部負担金等の免除証明書が必要になる。

労災診療審査業務の国への集約化について

従来、各労働基準局扱いであった労災診療費の請求書の提出及び照会・相談の窓口が、７月１日（金）から三重労働局労働基準部労災補償室分室に一本化される。

第18回中医協医療経済実態調査について

平成23年６月に第18回中医協医療経済実態調査が実施される。県内で20件程度が調査対象になることが見込まれる。ご協力をお願いしたい。

「診療報酬明細書等の被保険者等への開示について」の一部改正について

22年４月から電子請求が義務付けられている保険医療機関（歯科診療所は23年４月から）については明細書を無料発行することとなったことに伴い、保険者が行うレセプト開示の取扱いも見直された。内容によっては医療機関への確認なしに保険者から被保険者に対してレセプトが開示される場合がある（開示後には通知される）。

【医療管理】（辻(哲)常務理事）



職場体験 歯科衛生士インターンシップ・歯科医師ジョブシャドウイング受入事業所について

インターンシップに54医療機関、ジョブシャドウイングに32医療機関の登録があった。

医薬品医療機器情報配信サービスの登録について

医薬品医療機器総合機構（PMDA）では、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報が発出された際に電子メールによって配信するサービス（PMDAメディナビ）を行っている。各自登録して活用していただきたい。

医療ネットみえの運営状況について

22年度の運営状況について歯科は205件が参加。案内件数は歯科：1,159件、矯正歯科：２件、小児歯科：38件、歯科口腔外科：89件。案内できなかった件数は歯科では０件。

医療機関等における院内感染対策について

６月17日(金)付で厚生労働省医政局指導課長より「医療機関等における院内感染対策について」という通知が発出された。

歯科衛生士のＰＲポスターの掲載について

例年通り歯科衛生士PRポスターを配布した。各診療所でも掲示していただきたい。

その他

税務調査アンケート、歯科治療時の全身的偶発症アンケート調査、歯科技工料調査等が実施されているので、ご協力をお願いする。

【広報編集】（熊谷理事）



テレビによる歯科衛生士に関するPRについて

今年度も三重テレビの高校野球三重大会中継で、15秒スポットCMと試合のインターバルを利用してインフォマーシャル（歯科衛生士をＰＲするもの）を放映する。

【企画調査】（太田常務理事）

平成23年度最新歯科医療実態調査について

回収率は70.2％。前回(21年度)調査時を9.7ポイント下回った。次回は調査実施時期を再考する。

県歯会からの情報配信（Ｅメール）について

登録率は50％を超えて以降、伸び悩んでいる。支部でも登録の呼びかけをお願いしたい。

協議事項

東日本大震災による被災県歯科医師会への見舞金の取扱い方法について

芝田専務理事より、東日本大震災で被災した歯科医師会会員に対する見舞金について、各支部の協力もあり総額9,764,000円に達したことが報告された。

日歯では、義援金の配分について半壊以上の被災件数及び福島原発事故による避難件数を元に決定しており、その比率が参考資料として示された。

比較的、被害の大きかった岩手・宮城・福島が主な対象になるが、茨城・千葉等も相当の被害を受けているため、これらへの配分も含め最終的な判断は理事会に一任された。

第17回（平成24年度）三重県歯科保健大会について

同じく芝田専務理事より、第17回（平成24年度）三重県歯科保健大会についての提案があった。第16回（平成23年度）は鈴鹿での開催が決定しているが、次年度は公益法人制度改革への対応が決着し新法人としての最初の大会になる見込みでもあることから、これを機にその内容を見直したいとするもの。例年は開催の半年前（５月頃）に実行委員会が立ち上げられているが、第17回については今年度後半に準備委員会を設置し、内容の検討に入りたいとしている。各支部長からは特に異論はなく、提案された内容で準備が進められることとなった。

支部長よりの提案事項

抜歯後偶発症に関する名古屋地裁判決について

落合支部長（亀山）



６月15日(水)、抜歯後に骨髄炎を発症した患者が損害賠償を求めた訴訟の判決で、名古屋地裁が歯科医師に対して約4,000万円の支払いを命じたと報道された。詳細について伺いたい。

辻(哲)常務理事

現在係争中につき、詳細は明らかになっていない。隣県のことでもあり、今後情報収集に努めていきたい。

落合支部長

県内でこうした事項が生じた場合の対応は。

辻(哲)常務理事

従来通り、三重県歯にご相談いただきたい。顧問弁護士も含めて対応していく。医療相談では説明不足に起因するトラブルが多いように感じる。常日頃から患者との信頼関係構築に努めていただきたい。

津波避難ビル募集への対応について

鎌谷支部長（津）



津市では津波による浸水に際し、地域住民等が緊急かつ一時的に避難するための民間ビルを募集している。口腔保健センターも該当するので公益に資する観点から検討してはどうか。

芝田専務理事

非常時に地域住民の避難に協力することにはやぶさかではないが、当口腔保健センターは常時開館しているわけではなく、休日や夜間の災害時には避難先として利用できない可能性が高い。残念ながら今回の津波避難ビル募集に応じるのは困難と考える。

（広報編集委員・植松康明　記）

▲三重県歯科医師会会員の皆様へ広報編集委員会からのお知らせ

えっ、まだ登録してないの？

三重県歯科医師会では、すでに約50%の会員が会員宛配布物E-MAIL＆メールマガジン配信の登録をしています。



会員宛配布物E-MAIL配信登録

登録者に専用メールアドレスを割り当て！　冊子・ポスター等を除くほとんどの文書をデータ配信！　県内どこでも同時に届く！　紙ごみ減量、ちょっとエコ♪

三重県歯科医師会メールマガジン

E-MAIL配信登録者に毎週メルマガも配信！　三重県歯科医師会の最新情報がいち早くお手元に！　ホームページ更新情報掲載、新着情報を見逃さない！　毎月歯科関連ニュースクリップをお届け、ネットサーフィンをする暇のない忙しいあなたに最適！

さあ、三重県歯科医師会ホームページ・会員Onlyトップページから
「E-MAIL配信申込みはこちら」
http://www.dental-mie.or.jp/only/mail/mousikomi.html
に、今すぐアクセス！

災害伝言ダイヤル　171

会員の皆様へのお願い

大規模災害発生時には、通常の電話やファックス等の通信手段が使用不能となる可能性があります。

会員各自が、右に示すような災害時用の連絡手段を講じて、自身の安否や診療継続の可否について、自発的に連絡していただくようお願いします。

✓　災害時の連絡手段

- 支部の連絡網
- ｉモード災害用伝言板サービス
- ＮＴＴ災害伝言ダイヤル（171）

詳しくは、大規模災害時歯科活動マニュアル（三重県歯科医師会作成／オレンジ色のファイル）を、ご参照下さい。

７月理事会報告

平成23年７月５日（火）三重県歯科医師会館

東日本大震災の被災会員に対する見舞金の配分について協議

７月５日(火)、定例理事会が開かれ、東日本大震災で被災した歯科医師会員への見舞金の配分について協議された。各支部の協力により総額9,764,000円に達し、その配分は６月支部長会で執行部に一任されていた。理事会では様々な意見が出されたが、岩手・宮城・福島の３県に重点を置きつつ、千葉・茨城の２県にも一部見舞金を配分することに決定した。この理事会の開催中にも和歌山を震源とする地震が発生。東海・東南海地震が懸念される本会でも、災害対策の見直しに着手する方針だ。

会長報告

峰会長からは、日本歯科医師会の関連団体として初めて「公益」の冠のついた8020推進財団の評議委員会について報告された。同財団及び日歯では料理研究家・辰巳芳子氏を描いたドキュメンタリー映画『天のしずく』に協賛し、食の大切さを訴えていくとのこと。

６月末にまとめられた「社会保障・税一体改革成案」については受診時定額負担の導入が検討されていることに懸念が示された。政局が不安定な中、我々の医療を取り巻く環境にとって大切な法案「歯科口腔保健法」も民主党を中心に提出されており政局を見守りたいところだ。また、前回の診療報酬改定の検証についても、現在、日本歯科医師会で進められていることや、「歯科口腔保健法」の動向も報告された。

一般会務報告

- 無料職業紹介事業報告
  ６月分：求職４件、求人４件、紹介１件、まとまったもの０件
- ７・８月行事予定

承認事項

- 会員数
  一般692名、勤務27名、終身129名、特別３名、法人８、合計859名
- 入会届の受理１名
  稲森新一郎先生（津）
- 歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業について：申請６件について承認
  （予算額に達したため募集終了）

委員会事業報告

【社会保障委員会】

・ 個別指導（6/16）、社保委員会（6/23）、社保国保審査委員会・歯科医師会連絡協議会（6/23）について

【医療管理委員会】

・ 第１回歯科衛生士研修会（6/16）、第４回歯科助手講習会（6/19）、歯科衛生士職業説明会（6/30）について

【学術委員会】

・　第11回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会幹事会および協議会（6/25)、支部助成金事業(交付要綱)、第22回日本歯科医学会総会について

【福祉厚生委員会】

・　第２回福祉厚生委員会（6/23)、日歯福祉共済制度の死亡共済金に対する課税等に関する現状について（日歯)、互助会第１部の支給について（6/7～7/4申請分）

【公衆衛生委員会】



・　第１回三重県学校保健会理事会・評議員会(6/16)、平成23年度8020事業打合せ会（6/16)、第79回日本学校歯科医会総会（6/22)、平成23年度生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会（6/23)、第３回「みえ歯ートネット」運営協議会（6/23)、児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・歯科保健指導打合せ会（6/23)、第７回みえ摂食嚥下リハビリテーション研究会世話人会・学術集会（6/25)、第11回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会幹事会および協議会（6/25)、歯の衛生週間各事業県審査会（6/30)、第２回公衆衛生委員会(6/30)、三重県歯科保健大会講師（案）について

【広報編集委員会】

・　第１回広報編集委員会（6/16)、メルマガ発行、三重県市町村共済組合「共済ＮＥＷＳ」記事提供、役員・会員名簿発行、2011年度高校野球インフォマーシャル構成案について

【企画調査委員会】

・　第１回企画調査委員会（6/16)、最新歯科医療実態調査の集計結果について



【その他の報告】

・　障害者歯科センター報告
・　日本学校歯科医会第１回制度委員会（6/8）
・　日歯第１回成人歯科保健・産業歯科保健に関する打合せ会（6/15）
・　平成24年度税制改正に関する要望書について（日歯税務委員会）

協議事項

１．公益法人制度改革の対応について
２．第210回定時代議員会の招集並びに附議事項について
３．会務並びに事業の運営について
　⑴　第11回警察歯科医会全国大会の運営について
　⑵　第17回三重県歯科保健大会について
　⑶　県行政への要望事項について
４．東日本大震災による被災会員に対する見舞金の配分について

第210回定時代議員会報告

平成23年７月28日（木）三重県歯科医師会館

歯科口腔保健推進法成立への動きを報告

22年度決算承認／公益社団法人への移行認定申請を執行部に一任

７月28日(木)、第210回定時代議員会が開催され、峰会長は「歯科口腔保健の推進に関する法律」に向けた国会の動きを報告。歯科界の念願である同法律の成立に向け期待を示した。議事では平成22年度決算に関する議案が滞りなく承認された他、公益社団法人への移行認定申請に関する議案も可決され、申請については執行部に一任された。この日は平成22年度三重県歯科医師会保健衛生賞の表彰（次ページ参照）が行われ、各受賞者の長年の貢献が讃えられたのに加え、東日本大震災被災地に赴き身元確認作業及び口腔ケア活動支援に尽力した会員に対して感謝状が贈呈された（P．１参照)。



会長挨拶

峰会長は挨拶の中で、東日本大震災被災地への出動要請に応えた多くの会員に感謝の意を表した。また、日歯連盟副会長として出席した北海道東北地区歯科医師会役員連絡協議会について触れ、被災県歯の会長や役員たちは気丈な様子を見せていたものの、地域自体が大きな被害を受けた中での歯科医療の復興の困難さを実感したと述べ、必要な補正予算等を獲得すべく日歯、日歯連盟が協調して働きかけていく必要性を示した。

平成22年度 三重県歯科医師会 保健衛生賞受賞者



木村和芳	桑員支部
菊池元彦	四日市支部
古橋正史	四日市支部
中道宏	鈴鹿支部
箕浦陽一	津支部
堀せつ子	津（会員外）
谷宣博	松阪支部
継松正実	松阪支部
有田ミナ子	伊勢度会（会員外）
西田憲司	志摩支部
竹田耕生	尾鷲支部
田中明人	南紀支部
冨嶋正実	伊賀支部

会長報告

東日本大震災について

身元確認作業については三重県からは８名の会員が出動し、岩手県において51体のご遺体の検案作業に当たった。口腔ケア活動支援についても６月末から７月初めにかけて２名の会員が出動した。

日歯の義援金は岩手・宮城・福島・茨城・栃木・千葉の６県に被害の大きさに応じて配分された。三重県歯会員による被災県歯会員への見舞金も、栃木（辞退）を除く５県歯に送った。

社会保障制度・税の一体改革について

政府・与党の社会保障改革検討本部が６月30日(木)に社会保障と税の一体改革の成案を決定した。日歯は日本医師会、日本薬剤師会とともに、資源投入の必要性を訴えつつ受診時定額負担の導入等の患者負担増については反対する要望を提出している。

次期診療報酬改定について

日医は早々に改定実施の延期を求めているが、日歯は日医との協調も考慮しつつ、厚生労働省から発表された平成22年度社会医療診療行為別調査や、学会から出ている診療所向けのタイムスタディ等を十分に考察しながら、検討を進めている。

公益法人制度改革における日歯の対応

公益社団法人を目指す日歯が直面しているのが福祉共済に関する保険業法の問題である。共済の将来性、責任準備金、給付の見通し等についての試算を行っているところである。また、共済自体を公益事業として認めるよう求めてもいる。９月の日歯代議員会で詳細な進捗状況が明らかにされると思われる。

平成24年度制度及び予算等に関する要望書について（日歯）

日歯は７月、政府に対し以下の５つの重点項目からなる要望書を提出した。▽歯科医療の充実・確保について▽生涯を通じた歯科保健対策の充実・確保について▽高齢者に対する歯科保健対策と在宅歯科医療の充実について▽歯科医療従事者の養成・確保等について▽その他の事項について

歯科口腔保健の推進に関する法律の制定について

歯科口腔保健推進法案が、７月26日(火)参議院厚生労働委員会で了承され、27日(水)の参議院本会議で可決、衆議院へ送られた。29日(金)の衆議院厚生労働委員会を経て、来週にも衆議院本会議で可決される見通しである（８月２日(火)に可決)。

スポーツ基本法について

6月24日(金)に公布されたスポーツ基本法の第16条に「歯学」という文言が入った。日歯はこれを受け、日本体育協会に対して5項目からなる「スポーツにおける歯科の関わりについて」の要望書を提出した。

三重県における歯科保健に関する条例について

三重県歯が同連盟とともにその必要性を訴えてきた歯科保健に関する県条例についても、議会での理解が得られつつあり、前向きな発言が出てきている。委員会設置の動きもあり期待をしている。

一般会務報告・各事業関係報告

一般会務報告

芝田専務理事から▽会員数▽議事運営委員会・選挙管理委員会・裁定審議委員会の正副委員長の決定（P.39参照）▽第16回三重県歯科保健大会▽歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業―について、それぞれ報告が行われた。

各事業関係報告

林理事から10月23日(日)開催予定の平成23年度第1回三重県歯科医師会学術研修会について、羽根常務理事から公衆衛生事業・8020運動推進事業における今後の研修会予定について、辻(哲)常務理事から歯科衛生士需給対策について、大杉常務理事から歯科用貴金属価格の随時改定について、報告された。

議事

第1号議案　平成22年度三重県歯科医師会会計決算の承認を求める件

第2号議案　収益事業部門に於ける平成22年度分税申告に関する件

第1号、第2号議案は一括上程された。芝田専務理事が会計決算及び税申告について説明、中藤監事が監査結果について報告した後、採決に移り賛成多数で可決された。

第3号議案　歯科保健文化賞受賞者に関する件

芝田専務理事より、鈴鹿市保健センターとする旨の提案があった。その理由として、同センターが応急歯科診療所の開設をはじめ、歯科医師講話、年3回の「口の健康教室」、2歳児の親子を対象にした「すくすくファミリー教室」を実施、本年度からは50歳・60歳の方を対象に歯周病検診を開始する等、様々な活動を通じ口腔衛生予防活動の推進に尽力した功績が挙げられた。

採決の結果、賛成多数で可決された。

第4号議案　公益社団法人への移行認定申請に関する件

公営社団法人への移行については2月27日(日)の第207回臨時代議員会で承認され、3月31日(木)の第208回定時代議員会で公益社団移行後の定款及び諸規則が承認された。その後移行申請の準備が進められ、9～10月頃には公益社団法人への移行認定申請が行える目途が立った。そこで、本議案では今後必要な書類及び議事録等を添えて公益社団法人への移行申請を行うことを執行部に一任することについての承認が求められたものである。芝田専務理事からの主旨説明の後、採決に移り賛成多数で可決された。

（広報編集委員・赤塚貴則　記）

議事運営委員会・選挙管理委員会・裁定審議委員会

平成23年７月21日（木）　三重県歯科医師会館

７月21日(木)、議事運営委員会・選挙管理委員会・裁定審議委員会がそれぞれ初会合を開き、委員長及び副委員長を選出した。



議事運営委員会

髙阪雅裕	桑　員
田中淳一	四日市
小林晋嘉	鈴　鹿
前田和賢	津
◎横山雅一	松　阪
○福田幸弘	伊勢度会
矢谷憲一郎	伊　賀



選挙管理委員会

委員	予備委員	
中村博司	香川　馨	桑　員
岩﨑　惠	福岡誠二	四日市
亀田六史	山口俊彦	鈴　鹿
伊藤武則	金原耕司	亀　山
◎中西敏也	戸田喜之	津
○浜瀬敏彰	吉田章男	松　阪
森　輝道	田端治夫	伊勢度会
竹内利雄	高橋　賢	志　摩
森　和彦	松井俊哉	尾　鷲
小山　清	田中明人	南　紀
河野孝行	藤田茂康	伊　賀



裁定審議委員会

○河合　勝	四日市
堀　隆一	亀　山
細川元之	津
西川　有	松　阪
◎楠崎　渥	伊勢度会
宮原愼兒	南　紀
桃井房夫	伊　賀

◎委員長　○副委員長

医療管理

三重県歯科医師会 顧問税理士・植村公順

機械等を取得した場合の特別償却・税額控除

Q：古い歯科用ユニットを新品に取り替えたいと思っていますが、税の計算において有利な取扱いがあるのでしょうか。

A：従業員が1,000人以下の青色事業所得者が平成24年３月31日までに、新品の特定機械装置等を取得し、指定事業（歯科医業を含む）に使用した場合には、特別償却と税額控除のいずれか有利な方法を選択して適用することができます。

①　特別償却費（青色決算書の減価償却費の計算明細書に記載）

次の計算式の範囲内で、その年の必要経費とすることができ、その年に必要経費にしなかった償却費は、翌年に必要経費とすることができます。

基準取得価額×30％（基準取得価額＝特定機械装置等の取得価額）

（注）特別償却費を適用すると適用年の所得税と住民税の税額が軽減されます。

特別償却費はその特定機械装置等の耐用年数の合計償却費に含まれるもので、合計として償却費が増加するものではありません。

なお、所有権移転外リース取引により取得した特定機械装置等は特別償却費の適用はありません。

②　税額控除（中小企業者が機械等を取得した場合の所得税額の特別控除明細書の添付）

次の税額控除限度額をその年の所得税額から控除します。なお、その年における税額控除限度額のうち、税額控除しきれなかった金額については、翌年の所得税額から控除します。

税額控除限度額＝次のイとロのいずれか低い金額

イ　基準取得価額×７％（基準取得価額＝特定機械装置等の取得価額）

ロ　使用開始年の事業所得に係る所得税額×20％

（注）税額控除は特定機械装置等の通常の償却費計算をしたうえで、別枠で所得税の額が控除されるもので、住民税の軽減はありません。

なお、所有権移転外リース取引により取得した特定機械装置等は税額控除の適用があります。

特定機械装置等とは、次に掲げる減価償却資産です。

①　１台・１組・１式の取得価額が160万円以上の機械・装置

②　１台・１組・１式の取得価額が120万円以上の事務処理の能率化等に資する一定の器具・備品

③　１つの取得価額が70万円以上のソフトウエアで一定のもの

お尋ねの歯科用ユニットは上記①の機械・装置に該当しますので、現金または借入金で１台160万円以上の歯科用ユニットを購入し、歯科事業に使用すれば、その使用した年の翌年の確定申告において、特別償却と税額控除のいずれか有利な方法を選択して税の軽減を受けることができます。

なお、古い歯科用ユニットを取引業者に無償で引き取らせた場合は、引き取られた年の必要経費（未償却残高＝除却損）になります。

歯医者さんが来てくれる

「訪問診療可能歯科医療機関」への掲載について



三重県歯科医師会では訪問歯科診療の普及を進めるため、ホームページに訪問歯科診療が可能な歯科医療機関についての情報を掲載しています。

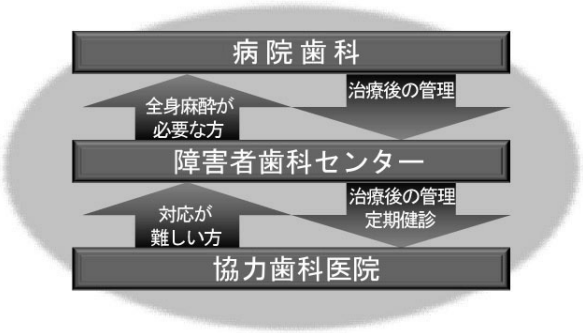
新たに掲載希望の会員は、三重県歯科医師会事務局までご連絡下さい。

社団法人　三重県歯科医師会
〒514-0003　津市桜橋２丁目120－2
TEL　059－227－6488

みえ歯ーとネット

協力歯科医院について

「歯科治療を受けたいけれど、障がいがあるので不安……」、そんな方たちのために、地域の歯科診療所と三重県障害者歯科センターが手をつなぎました。みえ歯ーとネットは、障がいのある方が安心して歯科治療を受けていただくためのネットワークです。



三重県歯科医師会では会員を対象にみえ歯ーとネット協力歯科医院への登録を受け付けています。登録を希望する方は、三重県歯科医師会事務局までご連絡下さい。

【登録するとどうなるの？】

① みえ歯ーとネットホームページで、「歯科医院名・所在地・電話番号」を公開します。
② 障害者歯科センターとの連携を行い、障がいのある患者を相互に紹介し、患者の歯科受診の利便性を図ります。
③ 地域の障がい児(者)福祉施設から歯科保健指導等の依頼があったときに、担当をお願いすることがあります。

6月・7月会務日誌

Association Diary

6月

2日　日本歯科医師会第168回臨時代議員会に峰会長、芝田専務理事出席

7日　理事会開催
三重県健康管理事業センター評議員会に峰会長出席

8日　日本学校歯科医会制度委員会に桑名理事出席

14日　みえ犯罪被害者総合支援センター通常総会に熊谷理事出席

15日　日本歯科医師会成人歯科保健・産業歯科保健に関する打合せ会に羽根常務理事出席

16日　歯科衛生士再就職支援緊急雇用創出事業第1回歯科衛生士研修会、広報編集委員会、企画調査委員会開催
三重県学校保健会理事会・評議員会に中井副会長、羽根常務理事、杉原理事、福森理事出席

19日　歯科助手講習会開催

22日　学校歯科医制度80周年・社団法人日本学校歯科医会設立40周年記念式典に峰会長出席
日本学校歯科医会第79回総会に中井副会長出席

23日　社会保障委員会、福祉厚生委員会、社保国保審査員・歯科医師会連絡協議会、第3回「みえ歯ートネット」運営協議会開催
平成23年度生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会が東京都にて開催され中井副会長出席

25日　みえ摂食嚥下リハビリテーション研究会世話人会・学術集会に羽根常務理事出席
第22回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会が千葉県にて開催され杉原理事、林理事出席

29日　8020推進財団評議員会に峰会長出席

30日　支部長会、常務理事会、公衆衛生委員会、よい歯の母子並びに児童生徒の県審査、歯科衛生士職業説明会開催

7月

2・3日　第5回社会歯科学研究会が東京都にて開催され中井副会長、芝田専務理事出席

3日　三重県医学会総会に峰会長出席

5日　理事会開催

7日　歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール県審査開催
准看護師試験委員会に太田常務理事出席

14日　医療管理委員会、災害時の対応対策に関する委員会開催

16日　東海信越地区歯科医師会会長・専務理事連絡協議会が長野県にて開催され峰会長、芝田専務理事出席
東海信越地区歯科医師会会長・副会長・専務理事・日歯代議員連絡協議会が長野県にて開催され峰会長、中井副会長、芝田専務理事、羽根日歯予備代議員、太田日歯予備代議員出席

19日　日本歯科医学会第86回評議員会に峰会長出席

21日　裁定審議委員会、選挙管理委員会、議事運営委員会、支部学術担当者・学術委員合同連絡協議会開催
三重県保険者協議会に峰会長出席
東海ブロック学校保健会連絡協議会に中井副会長出席
児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・保健指導に羽根常務理事出席

24日　三重県警察医会総会に役員、支部長出席

27日　日本歯科医師会税務委員会に太田常務理事出席

28日　代議員会、口腔ケアステーション連絡協議会第２回準備会開催

31日　日歯生涯研修セミナーが長野県にて開催され林理事、米本学術委員出席

会員消息 Member's News

本会会員数			（８月１日現在）
一般会員	693名	勤務会員	27名
終身会員	129名	特別会員	3名
法人会員	8名	計	860名
日歯会員数	65,102名		（６月30日現在）

新入会員



稲森新一郎（いなもりしんいちろう）先生（７．１付）
津市白山町川口4181
稲森歯科医院
電　話　059－262－0046
ＦＡＸ　059－262－5946
（津支部）



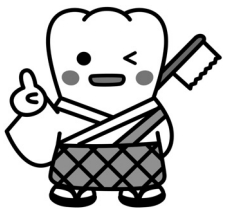
加藤貴彦（かとうたかひこ）先生（８．１付）
㈱桑名市大字太一丸687－1
バロー桑名東店１Ｆ
たか歯科クリニック
電　話　0594－87－5320
ＦＡＸ　0594－87－5326
㈱桑名市播磨565－1
電　話　0594－22－8088
（桑員支部）

診療所廃止

戸谷邦生先生（南紀）

※お詫びと訂正

三歯会報2011年６・７月号、30ページ、おくやみで掲載させていただきました西村マホ子先生の支部名に誤りがございました。正しくは“南紀支部”となります。ここにお詫びして訂正申し上げます。



新入会員プロフィール

Rookie's Profile

稲森新一郎（いなもりしんいちろう）先生（津支部所属）

１．学歴

高校　三重県立津西高等学校

大学　東京歯科大学（平成14年度卒業）

２．卒業後の研修先・勤務先

平成15年４月　東京歯科大市川総合病院
臨床研修医

平成17年４月　おおね歯科医院

平成19年10月　のせ歯科

平成22年４月　ユリデンタルクリニック

平成23年４月　稲森歯科医院

３．メッセージ

・抱負

地域の皆様の生活に微力ながらお役に立てるようにしていきたいです。

・目標

患者様に充分理解できる説明をすることを心掛けたいです。

加藤貴彦（かとう たかひこ）先生（桑員支部所属）

１．学歴

高校　私立麗澤瑞浪高等学校

大学　日本歯科大学新潟歯学部
（平成18年度卒業）

２．卒業後の研修先・勤務先

平成17年３月　愛知学院大学　臨床研修

平成18年４月　今井歯科医院

平成20年４月　ホワイトエッセンス長岡

平成22年４月　原歯科医院

３．開業年月日

平成23年７月24日

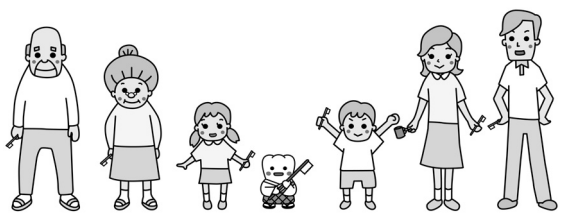
４．メッセージ

はじめまして。加藤貴彦と申します。

この度、桑名市太一丸のバロー桑名東店内に「たか歯科クリニック」を開院させていただきました。

不安と緊張で押しつぶされそうですが、今までお世話になった方々への感謝を忘れず、精一杯頑張って参りたいと思います。まだまだ分からないことばかりですので、色々とご指導いただけたら有難いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

趣味：ギター



告知板 Information

第33回
三重県歯科医師会ゴルフ大会開催のご案内

三重県歯科医師会ゴルフクラブ　会長　笠原浩義

恒例となっております標記大会を、下記のとおり西日本セブンスリーゴルフクラブにて開催いたします。

記

１．日　　時：平成23年９月29日（木）午前８：30スタート

２．場　　所：西日本セブンスリーゴルフクラブ
　　松阪市嬉野島田町1242－１　ＴＥＬ 0598－42－1212

３．会　　費：１人　5,000円
　　プレー代　ビジター約12,000円（キャディー付き、昼食、パーティー代を含む）
　　等は個人精算

４．競技方法：18ホールストロークプレイ　ＨＣはダブルペリア方式（年長者上位）
　　使用ティは白マーク（65歳以上シニアティ、女性はレディースティ）
　　その他はＪＧＡ及びローカルルールに従う。

５．賞　　品：優勝～10位、飛び賞、ニアピン賞、ドラコン賞等
　　参加賞には「松茸」を準備します。

６．参加資格：三重県歯科医師会会員及び勤務医

７．申込方法：各地区でお取りまとめいただき、同送いたしました申込用紙にて８月27日（土）までに下記までお願いいたします。

８．申 込 先：〒515-2515　津市一志町八太1543－３
　　西本歯科医院　西本康助
　　ＴＥＬ ０５９－２９３－０２２０　ＦＡＸ ０５９－２９３－１２２９

９．お 願 い：会費につきましては、当日個別に集金させていただきますが、なるべくつり銭の要らないようにご準備お願いいたします。また、キャンセルにつきましては９月15日（木）以降は参加賞準備の都合上お受けしかねますのでご了承下さい。その際は、会費をお納めいただき、参加賞をお渡しいたします。

なるべく多くの先生方にご参加いただきたいと思っております。勿論、県歯会員の方なら地区ゴルフクラブに入会されてみえない先生でも結構です。その他、ご意見、ご質問等ございましたら、上記申込先「西本」までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平成23年２月診療分歯科診療報酬状況（三重県）							
		社会保険			国民保険		
		１件当日数	１日当点数	１件当点数	１件当日数	１日当点数	１件当点数
一般	本人	1.9	613.5	1,144.3	2.0	618.4	1,214.5
	家族	1.7	562.7	945.0			
後期高齢者医療		－	－	－	2.1	677.6	1,397.1

平成23年３月診療分歯科診療報酬状況（三重県）							
		社会保険			国民保険		
		１件当日数	１日当点数	１件当点数	１件当日数	１日当点数	１件当点数
一般	本人	1.9	606.8	1,169.1	2.0	617.0	1,255.1
	家族	1.7	563.2	965.8			
後期高齢者医療		－	－	－	2.2	671.4	1,453.1

≪事業主の皆様へ≫

労働保険の加入手続はおすみですか

―11月は「労働保険適用促進強化期間」です―

労働保険（「労災保険」と「雇用保険」）は、政府が管理・運営している強制的な保険であり、農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用している場合、事業主または労働者の意思の有無にかかわりなく必ず加入することが法律で定められています。

三重労働局では、11月を「労働保険適用促進強化期間」と定め、“労働保険の未手続事業場の一掃”を重点項目に掲げ、三重県労働保険事務組合連合会と連携して未手続事業場を個別訪問する等により、加入促進を図っています。

労働保険の加入手続をとられていない事業主の方は、速やかに加入手続をお願いします。

万一、労災保険事故が未手続事業場で発生した場合には、遡って保険料を徴収するほかに、労災保険から給付を受けた金額の100％または40％を事業主から徴収することとなっています。（費用徴収制度と言います。）

【問合せ先】　三重労働局総務部労働保険徴収室（ＴＥＬ ０５９－２２６－２１００）
または、最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所へお問い合わせ下さい。

互助会の現況

Mutual Aid Association

（23年6月1日～30日）

第1部（疾病共済）

入会 1名	退会 0名	累計 787名	2,315口
収入累計	203,872,612円	繰越	183,313,612円
		入金	20,559,000円
支出	2,700,000円		
残高	201,172,612円	定期	98,000,000円
		普通	53,172,612円
		国債	50,000,000円

療養給付：8名

死亡給付：1名

第2部（火災共済）

入会 1名	退会 0名	累計 806名	864口
収入累計	107,287,419円	繰越	106,428,419円
		入金	859,000円
支出	0円		
残高	107,287,419円	定期	88,390,000円
		普通	18,897,419円

第3部（災害共済）

入会 1名	退会 0名	累計 806名	
収入累計	47,388,579円	繰越	46,189,079円
		入金	1,199,500円
支出	0円		
残高	47,388,579円	定期	22,300,000円
		普通	25,088,579円

（23年7月1日～31日）

第1部（疾病共済）

入会 1名	退会 0名	累計 788名	2,318口
収入累計	201,267,112円	繰越	201,172,612円
		入金	94,500円
支出	2,340,000円		
残高	198,927,112円	定期	98,000,000円
		普通	50,927,112円
		国債	50,000,000円

療養給付：6名

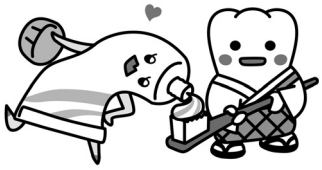
死亡給付：1名

第2部（火災共済）

入会 1名	退会 0名	累計 807名	867口
収入累計	107,294,419円	繰越	107,287,419円
		入金	7,000円
支出	0円		
残高	107,294,419円	定期	88,390,000円
		普通	18,904,419円

第3部（災害共済）

入会 1名	退会 0名	累計 807名	
収入累計	47,395,579円	繰越	47,388,579円
		入金	7,000円
支出	0円		
残高	47,395,579円	定期	22,300,000円
		普通	25,095,579円



三重県歯科医師 国民健康保険組合

MIE DENTIST NATIONAL HEALTH INSURANCE UNION

第131回臨時組合会／組合規約を一部改正、法令遵守に努める



７月28日(木)、今年度最初の組合会が開かれた。５月に厚生労働省で行われた国保組合のコンプライアンス研修を踏まえ、法令遵守の観点から組合規約の一部改正が決議された他、法人等が当組合に加入する場合に必要な適用除外承認申請の徹底が求められた。

会合では冒頭、この４月に就任した武田良一新理事長が挨拶。新役員を紹介した後、服部 修議員(桑員)、鎌谷義人議員(津)を正副議長に選出。辻(哲)副理事長が平成22年度事業実績について、宮田 保監事が同事務監査について報告した。

さらに桑名良尚コンプライアンス担当理事が５月の研修について報告（『三歯会報』６・７月号P.35参照)。法人及び従業員５名以上の事業所が歯科医師国保に加入する場合には、適用除外承認申請を適正に行うよう呼びかけた。

同じく法令遵守を図る目的から、組合員家族の加入資格の有無を確認するために、加入時及び年１回の住民票提出を定める組合規約の改正案が議案として提出され、可決された。この他、▽平成22年度歳入歳出決算並びに財産目録の承認を求める件▽同残高処分に関する件―についての議案も上程され、いずれも可決された。

三歯国保ホームページを新たに開設

７月28日(木)の臨時組合会の席上、熊谷 渉常務理事から、新たに三重県歯科医師国保組合の独立したホームページを開設することが報告された。



これまで当組合では、三重県歯ホームページ内の会員専用コンテンツの一部として当組合のコーナーを設置し若干の情報提供を行ってきたが、閲覧できるのは三重県歯科医師会会員である第１種組合員に限られていた。今回開設するホームページには、IDやパスワードによる制限はかけられておらず、第２種組合員も自由に閲覧できるよう配慮されている。

今後はこのホームページを活用し、組合員に有益な情報を提供していく方針だ。

URL:http://www.dental-mie.or.jp/kokuhokumiai/

平成23年４月／５月

現況

保険給付状況

23年４月

		件　数	費　用　額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,728	56,012,374	40,235,401
	累　計	3,728	56,012,374	40,235,401
療養費	当月分	80		365,887
	累　計	80		365,887
高額療養費	当月分	25		2,671,299
	累　計	25		2,671,299
移送費	当月分	−		−
	累　計	−		−
出産育児一時金	当月分	−		−
	累　計	−		−
葬祭費	当月分	1		80,000
	累　計	1		80,000
傷病手当金	当月分	18		747,000
	累　計	18		747,000

23年５月

		件　数	費　用　額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,348	40,909,860	29,390,767
	累　計	7,076	96,922,234	69,626,168
療養費	当月分	84		322,155
	累　計	164		688,042
高額療養費	当月分	28		2,326,734
	累　計	53		4,998,033
移送費	当月分	−		−
	累　計	−		−
出産育児一時金	当月分	3		1,260,000
	累　計	3		1,260,000
葬祭費	当月分	−		−
	累　計	1		80,000
傷病手当金	当月分	14		557,000
	累　計	32		1,304,000

収支状況

23年度23年５月累計

区　　分	金　　額
歳　入　合　計	129,139,147
歳　出　合　計	50,077,082
収支差引残高	79,062,065

22年度23年５月累計

区　　分	金　　額
歳　入　合　計	1,426,949,786
歳　出　合　計	986,460,130
収支差引残高	440,489,656

23年度23年６月累計

区　　分	金　　額
歳　入　合　計	203,082,381
歳　出　合　計	137,880,899
収支差引残高	65,201,482

被保険者異動状況

23年６月30日現在

区　　分	被保険者数	前月との比較
組　合　員	2,723	△　5
家　　族	1,815	△　5
計	4,538	△　10

23年７月31日現在

区　　分	被保険者数	前月との比較
組　合　員	2,721	△　2
家　　族	1,815	0
計	4,536	△　2

編集後記　Editor's Note

今期から広報編集委員をさせていただくことになりました。今までは『三歯会報』に目を通すことも少なく、よく理解していないことがたくさんありました。しかし、今回初めて支部長会等の会議を取材して、会長はじめ役員の先生方の仕事ぶりを多くの若い会員にも理解してもらえるよう伝えていきたいと感じました。広報編集委員として、価値のある情報を伝えていく工夫をしたいと思います。

東日本大震災に際しては歯科医師会からも多くの会員が被災地に向かわれました。大変なご苦労もあったかと思います。

震災と原発事故の影響を受け、一層混乱する政局。こうした状況の中で、日本歯科医師会が国民にとって価値ある団体であることを示していく必要があるのではないでしょうか。日歯大久保執行部の動向から目が離せません。

（広報編集委員・植松康明　記）

こども110番の歯科医院



三重県歯科医師会では、「社会貢献活動の一環」として、三重県警、三重県、三重県教育委員会の協力のもと、日本の将来を担う宝である子どもたちを守るために、平成18年６月より「こども110番の歯科医院」制度を導入しました。これは、不審人物につきまとわれたり、声をかけられたりした子どもたちが歯科医院に駆け込んできた場合、子どもを保護し、警察への通報等の対応を行うものです。

私たちは、子どもたちの笑顔を守り、明るい地域社会づくりに少しでも協力していきたいと考えています。

●「こども110番の歯科医院」の皆様へ

三重県歯科医師会では「こども110番の歯科医院　対応マニュアル　―子供たちを犯罪被害から守るために―」を作成しています。ご活用下さい。

三歯会報
平成23年９月10日印刷/平成23年９月15日発行
発行所/〒514-0003 三重県津市桜橋２丁目120－２ 三重県歯科医師会☎059－227－6488
発行人/峰　正博/編集/広報編集委員会/印刷所/矢田印刷
三重県歯科医師会ホームページ address　http://www.dental-mie.or.jp/

暮らし継がれる家
三井ホーム

医院開業をトータルでバックアップ
「DOCTOR PLAN」

医療建築は専門性が高く、医療法など法的規制や動線面での配慮など、様々な専門知識が不可欠です。
三井ホームでは地域に根付く医院を目指すため、基本構想立案から医院建築計画、資金計画、
建築・施工、開業後の税務、PR等のアシストまでトータルにサポートをしていきます。
多忙なドクターに変わって開業支援をしてまいります。



デザイン性に優れ基本性能にも優れた建物、4000件を超す医院開業の実績が、三井ホームのノウハウと医院建築のバランスが証明しています。

ドクター

三井ホーム

DOCTOR PLAN 医院開業バックアップシステム

豊かな経験、確かな実績。
各分野のプロが先生のブレーンになります。
4,000件を超える医院建築実績から蓄積されたノウハウと、ツーバイフォー工法の確かな技術力をもとに、医院開業に精通した担当者が窓口になります。

- 基本構想立案 不動産相談 土地・建物仲介
- 設計コンサルティング インテリアコーディネート ゾーニング計画 レイアウト計画
- 資金計画 運転計画
- 建築・施工 インテリア施工
- 税務・財務コンサルティング 機器・材料コンサルティング PR・来院促進



ドクターのためのセミナー　愛知・岐阜・三重

医院開業・継承個別相談会

親族継承のご相談も承ります

先生方の新規医院開業や高齢化にともなう継承を、三井ホーム医院開業専門スタッフが開業地選定や資金計画まで様々なご相談を承ります。
※詳細はHPにて随時掲載させて頂きます ※お申込み・お問い合わせは下記まで

参加無料 申込み随時受付中





カタログプレゼント　医院建築・開業のご計画に役立つ、カタログを差し上げます。

「医院開業のごあんない」　開業に向けた基礎知識から集患の秘訣までをわかりやすく解説します。診療科目別に設計のポイントも掲載しています。

ご希望の方は下記の営業所までお問い合せいただくか、ホームページをご覧ください。

三井ホーム株式会社 中部営業本部 医院開業デスク

0120 FreeDial **0120-72-2431**

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30
名古屋三井ビルディング本館16階

m-midland3@mitsuihome.co.jp

三井ホーム中部　検索

「いまさらながら…」
の君も あなたも ぜひどうぞ!!

「ようこそ!! ★J.&Sachi 塾・予備校へ!」

こだわりの方々へ!
大好評予約受付中

安全な環境・2才児～予備校生までの独自の個別対応。高実績。

医歯薬系難関受験　期待にお応えします。34年目個別の名門

—学習空間も名門の証—

受験に精通した講師以外にも、医学部に精通した国公立医学部生も配置し
きめ細かい、且つ強力なバックアップ体制で合格を勝ち取ります。

喜びの声をお聞きください・・・・

●滝中学2年時入塾→名古屋大学（医）現役合格
「成績は学年10番台です。国語力が弱く1ケタ台に入れません。何が何でも名古屋大学（医）に現役合格させたいのです。ジェイ・サチしかないと私の職場で聞きました。宜しくお願いします。しごいてやって下さい。」父親談
「最後の最後まで油断しないっ!をジェイ・サチで学びました」本人談　おめでとう!

●東海高校1年時入塾→慶應義塾大学（医）現役合格
「生意気な僕がついていこうと思ったほどの塾でした。」本人談　おめでとう!

●金城中学1年時入塾→愛知医科大学（医）現役合格!
「親も毎月の保護者会参加で多岐に渡り学びました。娘共々、成長できたことを感謝しております」母親談
妹のE子さんも愛知医科大学推薦合格!　家族共々医者を目指して頑張りました!　おめでとう!

●愛教大附属中2年時入塾→淑徳高校→岐大（医）合格
「何をどうやったらよいかの具体的なアドバイスは大変刺激になりました!」本人談　おめでとう!

●椙山中高一貫初の現役の医学部推薦合格!
「ジェイ・サチに全てを任せてみました。学校中から祝福の声でした。ジェイ・サチに出会って医学部に入ることは私でも当然の事だと勇気をもらい続けた結果の合格です。」　おめでとう!

他　医歯薬系合格者圧倒的多数　詳細はHP参照!


ミッドランドスクエア校外観


一社駅前校外観


いりなか駅前校教室



星ヶ丘駅前校教室

自習室完備!

予備校生 受付開始!!
医歯薬系の名門ジェイ・サチ
あなたにあったご予算で
個別指導による適した
プログラムを作成します。

Z会学習教室が ジェイ・サチに誕生!
難関校専門の
Z会の通信添削を
個別のジェイ・サチが
完全フォロー!

中・高・中高一貫高校生 難関受験対策
●Total Advice 医歯薬コース
受験科目すべてを登録（面接、小論文含む）。
大学別入試対策・学校定期テスト対策を含め、
気力・精神面からもTotalにアドバイス。
全科目完成。

0120-096-124（総合受付）9:00～21:00

●大学受験　予備校生　名古屋大学　経済学部合格　Sさん　おめでとう!
他の予備校では「2年間かけても南山にいけるかどうか･･･」といわれていた私に、先生は「あなたならうかるわよ!」と言ってくれました。ジェイ・サチでは「ベクトルって何?」などの本当に初歩的なことから丁寧に教えていただき（笑）、その結果、私は当初の希望校であった名古屋市立大学を変更し名古屋大学に合格しました。

●高校受験　ラサール高校・愛光学園合格　K君　おめでとう!
息子の通っている中学校からお電話があると、いつもお叱りの内容ばかりでした。悩んだ末にジェイ・サチの門を叩きました。先生方は息子と私に、23／45の内申点で行ける高校はほとんどないこと、世の中甘くないこと、“やればできる、できたら楽しい”を繰り返し伝え続けて頂きました。自分の可能性を否定する息子が変わり合格できました。

●中学校受験　東海中学合格　Y君　おめでとう!
僕は国語と社会があまり好きではありませんでしたが、個別授業で自分が納得できるまで聞けたこと、教えてくれたことがとてもうれしかったです。いままで他の塾では自分から勉強をやることはありませんでしたが、ジェイ・サチでは理科の実験などが本当に面白くて勉強が楽しくなりました。

●小学校受験　南山大学附属小学校合格　Iさん保護者　おめでとう!
ジェイ・サチには年中からお世話になりました。当初は、授業中にじっと座っていることさえままならなかった娘が、南山小学校へご縁をいただけたことは、今でも夢のようです。娘がそれぞれ今まで積み上げてきたものを開花させていく姿に涙がでそうでした。ありがとうございました。

“34年目の個別” 安心・安全な環境での 個別対応

〈高卒生:J.&Sachi予備校〉
〈高校生:Total Advice Course(医歯薬系・文系難関・理系難関)/高校生コース〉
〈中学生:難関大学受験Total Advice Course・中高一貫生コース/中学生コース〉
〈小学生:私立,国立中学受験コース・高学年コース/中学受験準備コース+英会話〉
〈年中/年長児:南山小受験お陽さまコース/私立・国立小受験お星さまコース〉
〈幼児（1歳10ヶ月～）:幼児コース〉
〈一般:マンツーマン英会話コース・書き方コース・書道コース〉

J.&Sachi 塾

株式会社 ジェイ・アンド・サチ

ジェイ・アンド・サチ　検索
http://www.j-sachi.com
（2週間毎に更新中!!）

J.&Sachi 塾 星ヶ丘駅前校
（地下鉄東山線星ヶ丘駅2番出口 徒歩1分）
VOICE:0120-096-124 FAX:0120-712-038
名古屋市千種区井上町50-1 COZY PLACE星ヶ丘ビル2F

J.&Sachi 塾 ミッドランドスクエア校
（ミッドランドスクエア4F）
VOICE:052-588-5625 FAX:052-588-5635
名古屋市中村区名駅1丁目7番1号 ミッドランドスクエア4F

J.&Sachi 塾 いりなか駅前校
（地下鉄鶴舞線いりなか駅2番出口 徒歩1分）
VOICE:052-861-7585 FAX:052-861-3251
名古屋市昭和区隼人町7番地1（1F駐車場完備）

J.&Sachi 塾 一社駅前校
（地下鉄東山線一社駅①出口西）
VOICE:052-769-0735 FAX:052-760-2343
名古屋市名東区高社1-258 J.&Sachi Bld.（駐車場完備）

J.&Sachi 塾 江南駅前校
（名鉄犬山線江南駅下車①出入口南・ナガタニビル4F）
VOICE:0587-56-5556 FAX:0587-56-5546
江南市古知野町朝日165番地ナガタニビル4F

ジェイ・アンド・サチ塾は上記5つの校舎を責任をもって運営しています

医療後継者育成は全寮制の秀明学園で

知・技・心の調和のとれたエリートを育て33年…
秀明教育が医療の世界で高く評価されています。

■ 秀明学園の特色 ■

- ●月曜登校、金曜帰宅……**4泊5日の全寮制**
- ●ムリ、ムダ、ムラのない……**中・高一貫教育**
- ●英国留学2回で……**国際人の育成**
- ●父母と学校の「共育」で……**子供の夢を実現**

医歯学部主要合格大学

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学 理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	昭和大学	54
北海道大学	2	防衛医科大学校	8	九州大学	2	愛知学院大学	12
東北大学	4	自治医科大学	2	東京医科歯科大学	5	大阪歯科大学	17
名古屋大学	2	産業医科大学	2	新潟大学	2	北海道医療大学	39
大阪大学	1	日本医科大学	32	岡山大学	1	岩手医科大学	30
九州大学	1	東京慈恵会医科大学	19	広島大学	2	奥羽大学	102
東京医科歯科大学	1	順天堂大学	47	九州歯科大学	3	明海大学	129
千葉大学	6	昭和大学	54	長崎大学	2	神奈川歯科大学	70
筑波大学	1	日本大学	65	鹿児島大学	2	鶴見大学	79
群馬大学	3	東京医科大学	50	東京歯科大学	60	松本歯科大学	78
新潟大学	6	東邦大学	71	日本大学・歯、松戸歯	120	朝日大学	32
山梨大学	7	東京女子医科大学	7	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	169	福岡歯科大学	2
上記以外、国公立18大学52名　私立17大学818名							

※数字は1982年～2011年度の延べ人数 ※順不同

学校見学会

開催日	会場	時間
10月16日(日)	本校	13：00～15：00
10月30日(日)		
11月13日(日)		

文化発表会

開催日	会場	時間
10月8日(土)	本校	9：00～15：00
10月9日(日)		

説明会・見学会参加、資料ご希望の方は、電話・ホームページで

入学試験日程

入試区分	出願期間	試験日	合格通知書発送日
AO入試	11月14日(月)～11月25日(金)	11月27日(日)	11月29日(火)
一般入試　第Ⅰ期	1月10日(火)～ 1月20日(金)	1月22日(日)	1月24日(火)
一般入試　第Ⅱ期	1月30日(月)～ 2月10日(金)	2月12日(日)	2月14日(火)

学校法人　秀　明　学　園

進学相談・学校見学随時受付中

秀明 秀明中学校

（併設　秀明高等学校）

〒350-1175　埼玉県川越市笠幡4792　☎049-232-3311（入試室直通）FAX.049-232-6614　秀明学園　検索

AO・推薦入試日程

AO入試

〔本校入試〕

平成23年11月13日(日)

会場:昭英高等学校

〔東京会場入試〕

平成23年11月20日(日)

会場:八重洲富士屋ホテル

《選考内容》
面接・性格検査・志願理由書

推薦入試

平成23年12月18日(日)

会場:昭英高等学校

《選考内容》
作文・面接・性格検査・推薦書

内申点の基準はありません。

進路を早く決めたい。早く次のスタートラインに立ちたい。
やる気のある生徒の入学を希望しますので、面接重視の入試です。

やがて…医師

医師の家系を引き継ぐ
次代の力を育みます。



転・編入学もご相談ください

転・編入試随時受付

入試日程/入学願書が提出された時点で試験日を決定します
《会場》昭英高等学校　《選考内容》数学・英語・面接・性格検査

昭英高等学校 男女共学 全寮制

学校見学随時受付中
土・日・祝日も可

見学ご希望の方は、電話・FAX・ハガキ・Eメールなどで昭英高等学校入試事務局までご連絡ください。

資料請求 お問い合わせ先
914-0198 福井県敦賀市長谷65-98
昭英高等学校入試事務局入試係

TEL 0770-23-7221(代表) 0770-21-2040(直通) FAX 0770-25-8383
URL http://www.shoei-hs.ac.jp/ · Mail info@shoei-hs.ac.jp

ASAHI UNIVERSITY
SCHOOL of DENTISTRY

歯学部
OPEN CAMPUS



歯学部に一日体験入学

〔開催内容〕
ＡＯ入試直前対策講座

特に質問が多い講義理解力テストを入試本番同様に模擬体験していただき、解答のポイントを解説。その他に、大学紹介、ランチ体験、個別相談も実施します。

9.24〔土〕
開催時間
10:00～13:00
〔受付開始 9:00〕

2011年度から学費を改定
(大幅減額)いたしました。
朝日大学 学費減額 検索

Experience

朝日大学
http://www.asahi-u.ac.jp/

入試情報 **AO入試(Ⅰ期)出願受付中**
(出願期間)9/1〔木〕～9/28〔水〕(試験日)10/1〔土〕
(試験科目)小論文、講義理解力テスト、面接 (試験場)本学

0120-058-327 入試広報室
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

中央三井信託銀行

●遺言・相続 ●不動産 ●ローン ●資産運用の総合コンサルタント

自分の意思どおりに遺産を分け与えたい。

相続、安心。



中央三井信託銀行が遺言執行者となり、あなたのご意思を確実に実行いたします。

法定相続ではなく、より実情にあった遺産分配をしたい。
社会・公益のために遺産を役立てたい。
そうしたご意思の実現には「遺言」が不可欠です。
中央三井の遺言信託は、遺言書作成のお手伝いから保管・管理、遺言の執行まで一貫してサポート。
まずは財産コンサルタントまで、ご相談ください。

中央三井の遺言信託

【遺言信託標準報酬等（消費税等含む）】（平成23年3月1日現在）
●遺言書作成時：基本保管料105,000円および保管料（年間6,300円の月割り計算） ●遺言書保管中：年間保管料6,300円 ●遺言書変更時：変更遺言書保管料52,500円 ●遺言執行時：遺言執行標準報酬（財産の相続税評価額に当社規定の率を乗じた額。ただし、最低報酬は105万円。）
詳しくは窓口までお問い合わせください。

中央三井信託銀行 四日市支店
〒510-8650 四日市市諏訪町5番4号 届出第7号

TEL.059-351-1535



御注文は、お電話かFAXまたはインターネットからどうぞ。

「ご注文承り」係
0120-00-0707

伊勢せきやホームページ
http://www.sekiya.com/
伊勢せきや 検索

●交換・返品 商品到着時に破損汚損などがあった場合、返品交換に要する送料は当社負担にてお取替えさせていただきます。尚、食品でございますのでお客様のご都合による返品はご容赦くださいませ。また、返品期限は賞味期限内にてご対応致します。

伊勢せきや
〒516-0074 三重県伊勢市本町19-19（外宮前）

NKSJグループ

SOMPO JAPAN



教えて！保険の先生

株式会社 損害保険ジャパン
三重支店 津支社
〒514-0004　三重県津市栄町 3-115
TEL.059(226)3011
http://www.sompo-japan.co.jp

会員好評受付中!

mint
三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひらく!
mintはインターネットをトータルにサポートします。
http://www.mint.or.jp/

お問い合わせは
MDT 三重データ通信株式会社
TEL：059-223-1818
E-Mail：info@mint.or.jp

MORITA The theme for 2011: 笑顔∞ing

95TH ANNIVERSARY

クリアフィル® SA セメント オートミックス®

SAルーティングが オートミックスに！

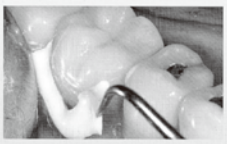
採取・練和がスムーズかつスピーディーに行えるので、多数歯への接着を行う症例などにもオススメです。

self-adhesive resin cement



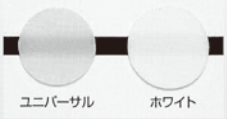
クリアフィル® SA セメント オートミックス®





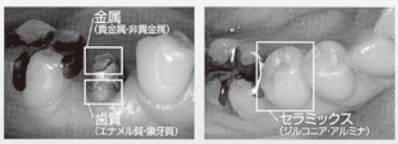
余剰セメントの簡単除去

デュアルキュアだから余剰セメントの除去方法が選択可能です。



2色のカラーバリエーション

2色の色調を選択可能です。



前処理不要で簡単接着

セルフアドヒーシブだから各種被着体*にプライマー処理なしで接着が可能です。

※歯科用鋼材の場合は、シラン処理が必要です。

【セット】ユニバーサル/ホワイト ○Aペースト4.3g(2.3mL)、Bペースト4.0g(2.3mL)…1本 ○付属品：ミキシングチップ…20個 ■標準価格 各9,000円

【単品包装】○ミキシングチップ ■標準価格 1,500円

●販売名 クリアフィルSAセメントオートミックス ●一般的名称 歯科接着用レジンセメント ●医療機器認証番号 222ABBZX00173000 ●医療機器の分類 管理医療機器(クラスⅡ)

製造販売 クラレメディカル株式会社 東京都千代田区大手町1-1-3(大手センタービル)〒100-0004 www.kuraray.co.jp/dental

●「クリアフィル」「オートミックス」は株式会社クラレの登録商標です。
●仕様及び外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。
●ご使用に際しましては、製品の添付文書を必ずお読みください。
●掲載商品の標準価格は、2011年2月21日現在のものです。標準価格には消費税等は含まれておりません。

販売 株式会社モリタ 大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161

www.dental-plaza.com